

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）
H29～R1 年度 分担研究報告書
難治性腎障害に関する調査研究

岡田 浩一 埼玉医科大学・腎臓内科学
安田 宣成 名古屋大学・腎臓内科学
藤元 昭一 宮崎大学医学部医学科血液・血管先端医療学講座/腎臓内科
要 伸也 杏林大学・第一内科学
柴垣 有吾 聖マリアンナ医科大学・腎臓内科学
土谷 健 東京女子医科大学・腎臓内科学

研究要旨

2016年に改訂された難治性腎疾患（IgA腎症、急速進行性腎炎、ネフローゼ症候群、多発性嚢胞腎）の診療ガイドラインの普及および遵守状況と診療実態の標準化を評価しつつ、より効果的な運用方法および改訂方針を策定した。その方針に沿って最新エビデンスの収集と厳格なシステマティックレビュー、海外ガイドラインとの比較、最新の日本人患者の疫学データを活用してガイドラインの改訂を行った。

A．研究目的

本研究課題が重点的に対象としてきた4疾患（IgA腎症、急速進行性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、多発性嚢胞腎）は、エビデンスに基づく診療ガイドラインが公表されているが、医療者・患者への周知と普及、腎予後、生命予後の改善に結びつく効果的な運用の実践には課題が残されている。腎疾患登録システム（J-RBR/J-KDR）のデータ解析や専門医へのアンケートを有効に活用し、この課題の解決を目指す。診療ガイドラインの普及を行うのと並行して、最新のエビデンスのシステマティックレビューとともに診断基準・重症度分類・治療指針の検証（日本人の臨床データの収集と諸外国のガイドラインとの比較を含む）を通じて、診療ガイドラインの改訂を行う。

B．研究方法

今までの4疾患に関するガイドラインを改訂するため、体制整備と情報収集を進める。なお下記の各疾患の担当者を研究分担者とする。IgA腎症（藤元昭一）RPGN（要伸也）ネフローゼ症候群（柴垣有吾）多発

性嚢胞腎（土谷健）。研究協力者として腎臓専門医に加え、各作成WGには非専門家や患者などのパネリストを加え、必要最小限に厳選したPICOとクリニカルクエッション（CQ）を策定する。またSRに適さないCQについてはテキスト形式による記述とする。

2016年に改訂され、2017年に出版された難治性腎疾患の診療ガイドラインの普及状況を調査し、ガイドラインの課題および取り上げるべきテーマを洗い出すため、腎臓専門医を対象としたWEBアンケートを実施する。

日本腎臓学会の協力のもとに、学術委員会の下部組織としてシステマティックレビュー（SR）チームを若手学会員より組織する。GRADEシステムに関する勉強会を実施する。

SRチームを中心にまずはエビデンスの収集をハンドサーチにより実施する。収集されたエビデンスをGRADEシステムに沿って、SRを実施する。

エビデンスをもとに、腎臓専門医および非専門医、パラメディカルや患者代表からなる推奨作成パネルが益と害のバランスに配慮しつつ推奨を策定する。

2017年版ガイドラインの内容をアップデートしつつ、CQに取り上げられなかった内容を含むテキスト部分を記述する。その際、本研究班の疫学分科会の最新の成果やアンケート結果を取り入れる。

パブリックコメントや関連学会による査読結果をもとに改訂版ガイドラインを完成する。

(倫理面への配慮)

既に公開もしくはDB収録されている論文やデータの調査であり、倫理面での問題はない。

C. 研究結果

各WGのメンバーを以下に示す。

IgA腎症ワーキンググループ

研究分担者：藤元昭一(宮崎大学腎臓内科)

研究協力者：鈴木祐介、鈴木仁(順天堂大学腎臓内科)、小畑陽子(長崎大学腎臓内科)、小池健太郎、清水昭博(慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科)、福田顕弘(大分大学腎臓内科)、市川大介(聖マリアンナ医科大学腎臓内科)、小松弘幸(宮崎大学腎臓内科)

急速進行性糸球体腎炎ワーキンググループ

研究分担者：要伸也(杏林大学腎臓内科)

研究協力者：廣村桂樹(群馬大学腎臓・リウマチ内科)、臼井丈一(筑波大学腎臓内科)、尾田高志(東京医科大学八王子医療センター腎臓内科)

佐田憲映(岡山大学腎臓・免疫・内分泌代謝内科)、板橋美津世(東京都健康長寿医療センター腎臓内科・血液透析科)、平橋淳一(慶應義塾大学血液浄化・透析センター)、川口隆久(慶應義塾大学腎臓・内分泌・代謝内科)、宮脇義亜(岡山大学腎臓・免疫・内分泌代謝内科)

ネフローゼ症候群ワーキンググループ

研究分担者：柴垣有吾(聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科)

研究協力者：和田健彦(東海大学腎代謝内科)、石本卓嗣(名古屋大学腎臓内科)、栗田宜明(福島県立医科大学臨床研究イノベーションセンター)

清水さやか(京都大学医療疫学)、白井小百合(聖マリアンナ医科大学腎臓高血圧内科)、中屋来哉(岩手県立中央病院腎臓内科)、新畑覚也(厚生労働省)、西脇宏樹(昭和大学藤が丘病院腎臓内科)、長谷川みどり(藤田保健衛生大学腎臓内科)、横山仁(金沢医科大学腎臓内科)

多発性嚢胞腎ワーキンググループ

研究分担者：土谷建(東京女子医科大学腎臓内科)

研究協力者：西尾妙織、川島圭介(北海道大学病院内科)、石川英二(三重大学腎臓内科・血液浄化療法部)、金子佳賢(新潟大学腎臓・膠原病内科)、林宏樹(藤田保健衛生大学・腎内科学)、本田謙次郎、石本遊(東京大学腎臓内分泌内科)、三戸部倫大(竹田総合病院腎臓内科)、中西浩一(琉球大学育成医学(小児科))、市川大介(聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科)

各診療ガイドライン 2017 に関するアンケート調査結果のまとめを示

す。

・成人ネフローゼ症候群の診療に関する、本邦における Guideline practice gap の実態を明らかにするために、腎臓専門医を対象に成人ネフローゼ症候群診療に関するアンケート調査を行った。回答者 116 人のうち、初回寛解導入療法における追加免疫抑制剤の第一選択に関しては、MCNS、IMN とともにシクロスポリン（MCNS：99.1%、IMN：79.3%）を選択した回答者が最も多かった。寛解導入後ステロイド継続期間の中央値（四分位）は MCNS、IMN でそれぞれ 12（9-18）ヶ月、12（6-18）ヶ月であった。診療パターンにばらつきが認められたものと認められなかったものがあった。ばらつきが認められなかったものでもネフローゼ症候群診療ガイドラインの推奨とは異なる診療パターンもあった。腎臓専門医においても Guideline practice gap が存在した。（Niihata K, et al. Clin Exp Nephrol 23;1288-1297, 2019）

・IgA 腎症、RPGN、PKD の診療に関して、2017 年版 GL の普及と EBM が困難な診療の実態を調査するため、腎臓専門医を対象とした WEB アンケートを実施した。回答者 253 人において、80%以上が各 GL を時々以上の頻度で参考にしていた。エビデンスが不足しているために SR に値せず、テキスト形式で記載予定の CQ のための貴重な情報が得られた。例：（IgA 腎症）パルス療法を行わない扁桃摘出術単独の実施については、専門医間でのばらつきが大きかった。（RPGN）高齢者の重症 MPA に対する薬物療法としては、ステロイドパルス療法が中心で、免疫抑制薬の併用は少なかった。（PKD）77%の腎臓専門医が脳動脈瘤の検索のための MR アンジオグラフィーを 5 年以内に繰り返していた。

各診療ガイドラインで選定された CQ と策定された推奨・要約を示す。なお、冊子体ガイドラインは 2020 年 6 月に上梓の予定である。

IgA 腎症ガイドライン

CQ:

・RA 系阻害薬は IgA 腎症に推奨されるか？

推奨:

ACE 阻害薬または ARB は、IgA 腎症の ESKD への進展抑制、腎機能障害の進行抑制ならびに尿蛋白の減少効果を有するため、使用するよう推奨する。

要約:

IgA 腎症に対する RA 系阻害薬は、多くの試験が CKD G1～G4、尿蛋白 1.0g/日以上以上の患者を対象としており、尿蛋白減少効果、ESKD 進展抑制効果、腎機能低下抑制効果が示されている。正常血圧患者でも尿蛋白減少効果を示した。ただし、尿蛋白 0.5g/日未満の IgA 腎症患者に対しては RA 系阻害薬の有効性は十分に証明されていない。RA 系阻害薬は忍容性の高い薬剤であるが、妊婦または妊娠している可能性のある女性には禁忌である。

・副腎皮質ステロイド薬は IgA 腎症に推奨されるか？

推奨:

IgA 腎症における腎機能障害の進行を抑制、尿蛋白減少効果が期待できるため、副腎皮質ステロイド薬の使用を推奨する。

要約:

IgA 腎症に対する副腎皮質ステロイド薬の有効性を検討したランダム化並行群間比較試験（RCT）は、その大半が尿蛋白 1.0 g/日、CKD ステージ G1～2 の IgA 腎症患者を対象としており、そ

の中で副腎皮質ステロイド薬の腎機能低下抑制、蛋白尿改善効果が示されている。しかし、G3以下の腎機能や尿蛋白1g/日以下を対象とした検討はごく少数であり、治療効果を検討するには不十分である。またステロイドパルス療法の腎機能障害の進行抑制に関する検討は少なく、また高用量経口ステロイド療法とステロイドパルス療法を比較したRCTはないため、検証が必要である。

急速進行性糸球体腎炎ガイドライン

CQ:

・ANCA関連RPGNの初期治療として免疫抑制薬の追加は推奨されるか？

推奨:

ANCA関連RPGNの初期治療では、経口シクロホスファミド(POCY)よりも、静注シクロホスファミドパルス(IVCY)を提案する。

解説:

腎症を有するAAVにおいてIVCYをPOCYと最終観察時において比較した場合、重篤合併症や重篤感染症といった重大アウトカムにおいて優れるが、最も重大なアウトカムである腎死率や重要アウトカムである再燃率において劣るという結果であった。いずれの報告においても、両群間でCSの総投与量に有意差はないが、CYの総投与量はPOCYの方がIVCYのほぼ倍量となっていることが、これらのアウトカムの違いに影響している可能性が考えられる。

・ANCA関連RPGNの初期治療におけるCSの併用薬としてRTXとCYのいずれが推奨されるか？

推奨:

ANCA関連RPGNの初期治療では、CSの併用薬としてRTXよりも、CYを提案

する。CYが使用しづらい場合や、RTXの使用が適切と判断される場合は、RTXの使用を提案する。

解説:

RITUXVAS試験、RAVE post-hoc試験のメタ解析では、両群間で有効性、安全性に有意差はみられなかったが、両試験とわが国の患者像の相違、わが国のこれまでの臨床成績や使用経験などを勘案して、「ANCA関連RPGNの初期治療では、CSの併用薬としてCYを提案する」とした。一方で、CYに対して重篤な過敏症の既往がある場合、累積投与量が多くなり性腺毒性や二次発癌の懸念がある場合など、CYを使用しづらい時にはRTXが有用と考えられる。

・ANCA関連RPGNの初期治療として血漿交換療法は推奨されるか？

推奨:

高度な腎不全を伴うANCA関連RPGNの初期治療では、CS+CYの追加治療として、mPSLパルスよりもPEを提案する。高度な腎不全を伴うANCA関連RPGNの初期治療では、CS+CYよりも、CS+CYにPEの併用を提案する。

解説:

「重大」なアウトカムである末期腎不全において、治療開始3ヶ月および12ヶ月におけるPE併用の優位性を認めた(3ヶ月:RR 0.46、95%CI 0.24~0.86、12ヶ月:RR 0.44、95%CI 0.22~0.85)。一方で死亡、再燃、重篤合併症ならびに重篤感染症の発現において、PE併用の優位性を認めなかった。以上から、高度な腎不全を伴うANCA関連RPGNにおいて、mPSLパルス療法と比較しPEの併用は12ヶ月までの末期腎不全を減少させる可能性があるかと判断した。短期的な腎予後の改善にとどまるとして

も患者側の価値観・優先度が高い可能性がある。また医療資源面においても、透析回避におけるコスト削減の効果は大きい。ANCA陽性 RPGN では PE が保険適応となっている現状も踏まえ、高度な腎不全を伴う ANCA 陽性 RPGN では透析回避、透析開始を遅延させるため PE の併用は提案されるものと考えた。

・ANCA 関連 RPGN の寛解維持療法において(ステロイドの併用薬として)RTX と AZA のいずれが推奨されるか？

推奨：

寛解導入された ANCA 関連 RPGN の維持療法として、CS+AZA よりも CS+RTX の使用を提案する。

要約：

ANCA 関連 RPGN の寛解維持療法は、再燃予防および日和見感染の合併症対策を加味して行う必要がある。CS にアザチオプリン(AZA)を併用する治療は、寛解維持療法として欧米では標準治療として認められてきたものであるが、2014年、2018年の新たな大規模臨床試験の報告により、死亡率と再燃率において、リツキシマブ(RTX)の併用療法が AZA の併用療法に対して優位性があることが示された。

ネフローゼ症候群ガイドライン

CQ:

・成人の微小変化型ネフローゼ症候群の再発例において、推奨される治療は何か？

推奨：

成人の微小変化型ネフローゼ症候群の再発患者において、ステロイド単剤よりもシクロスポリンを併用することを提案する。

解説：

MCNS は寛解後のステロイド減量や漸減中止に伴う再発率は 30～70%と高頻度であるため、MCNS の再発時に対する治療はステロイドを漫然と使用することを予防する点からも臨床上重要な課題と考えられる。本システマティックレビューの結果、シクロスポリンの併用は、6ヵ月後のネフローゼ症候群の再発は相対効果(RR)0.83(95%信頼区間(CI)0.29～2.39)、1ヵ月後のネフローゼ症候群の寛解は RR 1.25(95%CI 1.00～1.56)であり、統計学的に有意ではなかったが、点推定値はいずれも望ましい効果をもたらす方向であった。

・成人の巣状分節性糸球体硬化症でステロイド抵抗性の患者において、免疫抑制薬は推奨されるか？

推奨：

成人のステロイド抵抗性の巣状分節性糸球体硬化症において、ステロイドにシクロスポリンを併用することを提案する
成人のステロイド抵抗性の巣状分節性糸球体硬化症において、ミコフェノール酸 モフェチルおよび高用量デキサメタゾン併用することを提案する

要約：

成人のステロイド抵抗性巣状分節性糸球体硬化症に対して、ステロイドにシクロスポリンを併用することは寛解導入に有効であり、腎死を抑制する効果が報告されている。また、ミコフェノール酸モフェチルおよび高用量デキサメタゾン併用することは、寛解導入に有効である。

・成人のネフローゼ症候群を呈する一次性膜性腎症に、推奨される治療は何か？

推奨：

成人のネフローゼ症候群を呈する一次性膜性腎症において、支持療法単独よりもシクロフォスファミドとステロイドの併用を提案する。

成人のネフローゼ症候群を呈する一次性膜性腎症において、支持療法単独よりもミゾリピンとステロイドの併用を提案する。

成人のネフローゼ症候群を呈する一次性膜性腎症において、支持療法単独よりもタクロリムスとステロイドの併用を提案する。

成人のネフローゼ症候群を呈する一次性膜性腎症において、支持療法単独よりもクロラムブシルとステロイドの併用を成人のネフローゼ症候群を呈する一次性膜性腎症において、支持療法単独よりも ACTH による治療を提案する。

解説:

システマティックレビューをまとめると、成人のネフローゼ症候群を呈する一次性膜性腎症において、全死亡・感染症・腎機能低下に影響を与える薬剤は認められなかったが、クロラムブシルによる治療は支持療法単独群と比較して有意に腎死(透析・移植)を減らす効果が認められた。シクロフォスファミド・ミゾリピン・タクロリムスとステロイドの併用、もしくは ACTH による治療は支持療法単独群と比較して寛解(完全寛解・不完全寛解)を有意に減少させると結論付けた。

今回の推奨文はステロイド単剤療法もしくはシクロスポリンとステロイドの併用療法が全く無効であることを示した結果ではない。ステロイド単剤療法もしくはシクロスポリンとステロイドの併用療法は実際に我が国では現在標準治療として行われている治療であり、有効例も多く見受けられる。今回のネットワークメタ解析に用いた文献の多くは海外のプラクティ

スを報告したものである。我が国の実情を含んだ解析とするためには、薬剤の副作用や QoL も含めて、特に日本人を対象とした中長期的な観察期間を設定した研究が望まれる。今回の推奨結果は、副作用や治療のしやすさ等を勘案しての個別化医療の中でこれらの従来治療を行うことを否定するものではない。

・成人のネフローゼ症候群における特発性膜性腎症の診断に、PLA2R の測定は推奨されるか？

推奨:

成人ネフローゼ症候群患者において特発性膜性腎症の診断のための抗 PLA2R 抗体の測定は、腎生検の実施が難しい場合には測定してもよい。

解説:

システマティックレビューの結果、3 件の論文が評価対象となった。1 つは症例対照研究であり、1 つはコホート研究、1 つは詳細不明であった。ネフローゼ症候群と限定されていない研究も含まれ、対象者数は計 344 人であった。腎生検を踏まえた最終的な臨床診断による特発性膜性腎症を基準とすると、抗 PLA2R 抗体の感度、特異度は、それぞれ、0.77(95%CI 0.61-0.88)、0.95(0.87-0.98)、陽性尤度比、陰性尤度比はそれぞれ、15.4、0.24 であった。

多発性嚢胞腎ガイドライン

CQ:

・PKD 患者のトルバプタン治療は腎機能低下抑制に有効か？

推奨:

急速に進行するもしくは急速な進行が予想される成人 ADPKD 患者に対し、利尿にともなう有害事象に留意し、

肝機能障害をモニターした上で、腎機能低下の抑制を目的としたトルバプタン治療を推奨する。

・高血圧を伴う多発性嚢胞腎患者に RA 系阻害薬は推奨されるか？

推奨：

ACE 阻害薬もしくは ARB は高血圧を伴う ADPKD の末期腎不全への進展抑制効果および蛋白尿抑制効果が期待できるため、その使用を提案する。

・高血圧を伴う PKD 患者への降圧治療は腎機能低下抑制に有効か？

推奨：

厳格な降圧療法は ADPKD のアルブミン尿、左心肥大、腎容積増大を改善する効果が期待できるが、ふらつきなど副作用の頻度が高いため、50 歳未満で腎機能が eGFR60ml/分/1.73m² 以上かつ降圧療法に忍容性がある ADPKD 患者に限って、厳格な降圧療法を実施することを提案する。

・PKD 患者の腎嚢胞感染にフルオロキノロン系抗菌薬は有効か？

推奨：

ニューキノロン系抗菌薬は ADPKD の嚢胞感染治療に有効である可能性があり、推奨される

・PKD 患者に対する脳動脈瘤のスクリーニングは推奨されるか？

推奨：

脳動脈瘤のスクリーニングによる全死亡率の低下および脳動脈瘤破裂の予防を支持するエビデンスはないが、本邦における脳動脈瘤破裂率が高い可能性も踏まえ、単純 MR アンギオグラフィによるスクリーニングの実施を提案する。

特に家族歴のある場合には推奨する。

D . 考察

2017 年版ガイドラインの推奨内容に対するアンケートからは、Evidence-Practice Gap の実態が明らかとなった。2020 年版ガイドラインでは、標準治療の遵守を促進するための配慮が必要であった。また 2017 年版のガイドラインにおける SR に加え、海外ガイドライン、関連するコクランレビューや既存の SR 論文、これまでの主要な大規模臨床試験の資料を揃えた検討により、2020 年版のガイドラインで取り上げる CQ は上記のように厳選されたものとなった。GRADE 様式に沿った厳格な SR を実施し、その結果から導き出される推奨の作成においては、腎臓専門医だけではなく、他領域の専門家、利用者、患者代表などからなる推奨作成パネルが、益と害を吟味しつつ推奨を策定した。ただしその結果が日本の医療の実情にそぐわない場合には、推奨以外の治療アルゴリズムや解説の部分で配慮した。今回は採用しなかったが、臨床現場で必要とされる CQ は多く残されており、それらについては既存のエビデンスに加えて、疫学分科会の最新の成果およびエキスパートオピニオンを適宜採用しつつ、テキスト部分に記載した。なお、新たな難病医療提供体制として、厚生労働省難病対策課長通知「都道府県における地域の実情に応じた難病の医療提供体制の構築について」(平成 29 年 4 月 14 日)では、各都道府県単位で難病診療連携拠点病院の指定、難病診療分野別拠点病院、難病医療協力病院等の指定を行い、難病コーディネーターを配置することを通知した。そして、この体制においてそれぞれの難病毎に拠点病院等への紹介基準などを、診療ガイドライン内に記載することを推奨している。この点について、本研究班でも議論を重ねた。そもそもこの難病医療提供体制は、診断・療養が困難な稀少神経難病などを主に想定したものであり、一方本ガイドラインが対象とする腎臓病 4 疾患に関しては、診断そのものは専門医であれば比

較的容易であること、難治例については日頃からの医療連携の中で対処するものであり、特に全国一律の紹介基準というものは設定しがたいのが現状であることから、特別な記載は行わない方針とした。

E . 結論

専門医および専門医不在の地域における非専門医による難治性腎疾患の診療をサポートするガイドラインの完全改訂版を作成した。その際、最新のエビデンスに加え、2017年版ガイドラインの普及・遵守状況および利用者の意見、海外ガイドラインとの比較および本研究班疫学分科会の調査による日本の診療実態を反映させた改訂を行った。本ガイドラインの普及により難治性腎疾患の標準化を通して、患者予後の改善を期待する。

F . 研究発表

1 . 論文発表

1. 藤元昭一： 扁摘 + ステロイドパルス療法。IgA 腎症 update. 腎と透析 2017, 82(4): 560-565.
2. 藤元昭一： 慢性腎炎症候群（無症候性蛋白尿・血尿を含む）。今日の診断指針 2017年版 (Vol 59)、(福井次矢、高木誠、小室一成、編) 医学書院、東京、2017年、pp 573-576.
3. 藤元昭一： 13.2 慢性腎臓病 (CKD)。IV 腎・尿路系 内科学 (矢崎義雄、総編集) 朝倉書店、東京、2017年、pp 1401-1403.
4. 佐藤祐二、藤元昭一： IgA 腎症フォロワー中に浮腫が生じた 63 歳男性 .New 専門医を目指すケース・メソッド・アプローチ 腎臓疾患 第3版 (柏原直樹、編) 日本医事新報社、東京、2017年、pp30-35.
5. T. Katsuno, T. Ozaki, H. Kim, N. Kato, Y. Suzuki, S. Akiyama, T. Ishimoto, T. Kosugi, N. Tsuboi, Y. Ito and S. Maruyama. Single-dose Rituximab Therapy for

- Refractory Idiopathic Membranous Nephropathy: A Single-center Experience. Intern Med 56: 1679-1686, 2017
6. Y. Mori, T. Masuda, T. Kosugi, T. Yoshioka, M. Hori, H. Nagaya, K. Maeda, Y. Sato, H. Kojima, N. Kato, T. Ishimoto, T. Katsuno, Y. Yuzawa, K. Kadomatsu and S. Maruyama. The clinical relevance of plasma CD147/basigin in biopsy-proven kidney diseases. Clin Exp Nephrol doi: 10.1007/s10157-017-1518-2, 2017
 7. Furuichi K, Shimizu M, Yuzawa Y, Hara A, Toyama T, Kitamura H, Suzuki Y, Sato H, Uesugi N, Ubara Y, Hoshino J, Hisano S, Ueda Y, Nishi S, Yokoyama H, Nishino T, Kohagura K, Ogawa D, Mise K, Shibagaki Y, Kimura K, Haneda M, et al. Nationwide multicenter kidney biopsy study of Japanese patients with hypertensive nephrosclerosis. Clin Exp Nephrol doi: 10.1007/s10157-017-1496-4, 2017
 8. Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Yokoyama H, Sugiyama H, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Sato T, Wada T, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Tsuruya K, Masutani K, Konta T, Shoji T, Hiramatsu T, Goto S, Tamai H, Nishio S, et al. Regional variations in immunosuppressive therapy in patients with primary nephrotic syndrome: the Japan nephrotic syndrome cohort study. Clin Exp Nephrol doi: 10.1007/s10157-018-1579-x, 2018
 9. Furuichi K, Yuzawa Y, Shimizu M, Hara A, Toyama T, Kitamura H, Suzuki Y, Sato H, Uesugi N, Ubara Y, Hisano S, Ueda Y, Nishi S, Yokoyama H, Nishino T, Kohagura K, Ogawa D, Mise K, Shibagaki Y, Kimura K, Haneda M, Makino H, et al. Nationwide multicentre kidney biopsy study of Japanese patients with type 2 diabetes. Nephrol Dial Transplant 33; 138-148, 2018
 10. Hisamichi M, Kamijo-Ikemori A, Sugaya T, Hoshino S, Kimura K, Shibagaki Y. Role of bardoxolone methyl, a nuclear

- factor erythroid 2-related factor 2 activator, in aldosterone- and salt-induced renal injury. *Hypertens Res* 41; 8-17, 2018
11. Furuichi K, Shimizu M, Yuzawa Y, Hara A, Toyama T, Kitamura H, Suzuki Y, Sato H, Uesugi N, Ubara Y, Hohino J, Hisano S, Ueda Y, Nishi S, Yokoyama H, Nishino T, Kohagura K, Ogawa D, Mise K, Shibagaki Y, Makino H, Matsuo S, et al. Clinicopathological analysis of biopsy-proven diabetic nephropathy based on the Japanese classification of diabetic nephropathy. *Clin Exp Nephrol* doi: 10.1007/s10157-017-1485-7, 2017
12. Wada T, Muso E, Maruyama S, Hara A, Furuichi K, Yoshimura K, Miyazaki M, Sato E, Abe M, Shibagaki Y, Narita I, Yokoyama H, Mori N, Yuzawa Y, Matsubara T, Tsukamoto T, Wada J, Ito T, Masutani K, Tsuruya K, Fujimoto S, Tsuda A, et al. Rationale and study design of a clinical trial to assess the effects of LDL apheresis on proteinuria in diabetic patients with severe proteinuria and dyslipidemia. *Clin Exp Nephrol* doi: 10.1007/s10157-017-1488-4, 2017
13. Ohata K, Kamijo-Ikemoni A, Sugaya T, Hibi C, Nakamura T, Murase T, Oikawa T, Hoshino S, Katayama K, Asano J, Kimura K, Shibagaki Y. Renoprotective effect of the xanthine oxidoreductase inhibitor Topiroxostat under decreased angiotensin II type 1(a) receptor expression. *Eur J Pharmacol* 815; 88-97, 2017
14. Fukuoka K, Sato Y, Sakurai H, Kawashima S, Kaname S, Arimura Y: A dialysis patient with hyperphosphatemia, hyperkalemia, and azotemia without an excessive intake. *Kidney Int Rep* 2:770-773, 2017.
15. Tsukada H, Shimizu H, Kaname S: Bilateral nephromegaly due to isolated renal sarcoidosis. *Clin Exp Nephrol* 21:169-170, 2017.
16. Higashihara E, Horie S, Kinoshita M, Harris PC, Okegawa T, Tanbo M, Hara H, Yamaguchi T, Shigemori K, Kawano H, Miyazaki I, Kaname S, Nutahara K: A potentially crucial role of the PKD1 C-terminal tail in renal prognosis. *Clin Exp Nephrol* 22:395-404, 2018.
17. Kawamura T, Usui J, Kaneko S, Tsunoda R, Imai E, Kai H, Morito N, Saito C, Nagata M, Yamagata K. Anemia is an essential complication of ANCA-associated renal vasculitis: a single center cohort study. *BMC Nephrol* 18: 337, 2017
18. 要 伸也: 顕微鏡的多発血管炎. 血管炎の臨床 UPDATE. *医学のあゆみ* 262:505-510, 2017.
19. 高橋孝幸, 要 伸也: 急性腎不全における凝固・線溶系異常. *腎臓内科・泌尿器科* 6:300-305, 2017.
20. 要 伸也: 膠原病と血管炎における腎障害の診方. *日本内科学会雑誌* 106:2018-2027, 2017.
21. 要 伸也: 慢性腎臓病 (CKD) に対する療養指導 - 腎臓病療養指導士について - . *日本医師会雑誌* 146:2526-2527, 2018.
22. 要 伸也: 急速進行性腎炎症候群ガイドライン (ANCA 関連腎炎を含む). *炎症と免疫* 26:51-55, 2018.
23. 要 伸也: 免疫抑制剤 (含ステロイド). 高齢者の腎不全対策, 治療薬解説. *カレントセラピー* 36:81-85. 2018.
24. エビデンスに基づく CKD 診療ガイドライン 2018 日本腎臓学会編 東京医学社 2018
25. K Sueyoshi, et al. Predictors of long-term prognosis in acute kidney injury survivors who require continuous renal replacement therapy after cardiovascular surgery. *PLOS ONE* (in press)

- 26.H Amano, et al. Regional prescription surveillance of phosphate binders in the western Saitama area: the substantial role of ferric citrate hydrate in improving serum phosphorus levels and erythropoiesis. *Clin Exp Nephrol* (in press)
- 27.K. Sugiyama, et al. Reduced oxygenation but not fibrosis defined by functional magnetic resonance imaging predicts the long-term progression of chronic kidney disease. *Nephrol Dial Transplant* (in press)
- 28.H Kato, et al. Safety and effectiveness of eculizumab for adult patients with atypical hemolytic-uremic syndrome in Japan: interim analysis of post-marketing surveillance. *Clin Exp Nephrol*. 2018 Jun 29. doi: 10.1007/s10157-018-1609-8.
- 29.S Ito, et al. Safety and effectiveness of eculizumab for pediatric patients with atypical hemolytic-uremic syndrome in Japan: interim analysis of post-marketing surveillance. *Clin Exp Nephrol*. 2018 Jul 23. doi: 10.1007/s10157-018-1610-2.
- 30.R Yamamoto, et al. Regional variations in immunosuppressive therapy in patients with primary nephrotic syndrome: the Japan nephrotic syndrome cohort study. *Clin Exp Nephrol*. 2018 Dec;22(6):1266-1280.
- 31.K Furuichi, et al. Clinico-pathological features of kidney disease in diabetic cases. *Clin Exp Nephrol*. 2018 Oct;22(5):1046-1051.
- 32.H Kato, et al. Controversies of the classification of TMA and the terminology of aHUS. *Clin Exp Nephrol*. 2018 Aug;22(4):979-980.
- 33.J Hoshino, et al. A nationwide prospective cohort study of patients with advanced chronic kidney disease in Japan: The Reach-J CKD cohort study. *Clin Exp Nephrol*. 2018 Apr;22(2):309-317.
- 34.E Kanda, et al. Guidelines for clinical evaluation of chronic kidney disease : AMED research on regulatory science of pharmaceuticals and medical devices. *Clin Exp Nephrol*. (in press)
- 35.W Kubota, et al. A consensus statement on health-care transition of patients with childhood-onset chronic kidney diseases: providing adequate medical care in adolescence and young adulthood. *Clin Exp Nephrol*. 2018 Aug;22(4):743-751
- 36.藤元昭一：肝疾患に伴う腎病変。今日の診断指針 2018 年版(Vol 60)、(福井次矢、高木誠、小室一成、編) 医学書院、東京、2018 年、pp 594 - 595.
- 37 藤元昭一：エリスロポイエチン・腎と透析 Vol.84 増刊号「ベッドサイド検査辞典」(腎と透析編集委員会、編) 東京医学社、東京、2018 年、pp 166-168.
- 38.藤元昭一、猪原登志子：ANCA 関連血管炎に対する血漿交換療法 (PEXIVAS 試験を含む) 日本臨床 76 巻増刊号 6「血管炎(第 2 版) 臨床と基礎のクロストーク」, 日本臨床社、東京、2018 年 pp603-607.
39. 藤元昭一：IgA 腎症 診療の実際 expert 。IgA 腎症の臨床(湯村和子、編) 東京医学社、東京、2018 年、pp 306-309.
- 40.Kawagoe C, Sato Y, Toida T, Nakagawa H, Yamashita Y, Fukuda A, Iwatsubo S, Fujimoto S: N-terminal-pro-B-type-natriuretic peptide associated with 2-year mortality from both cardiovascular and non-cardiovascular origins in prevalent chronic hemodialysis patients. *Ren Fail* 40(1):127-134, 2018.
- 41.Shimizu M, Furuichi K, Toyama T, Funamoto T, Kitajima S, Hara A, Ogawa D, Koya D, Ikeda K, Koshino Y, Kurokawa Y, Abe H, Mori K, Nakayama M, Konishi Y, Samejima K, Matsui M, Yamauchi H, Gohda T, Fukami K, Nagata D, Yamazaki H, Yuzawa Y, Suzuki Y, Fujimoto S, Maruyama S, Kato S, Naito T, Yoshimura K, Yokoyama H, Wada T: Decline in estimated glomerular filtration rate is associated with risk

- of end-stage renal disease in type 2 diabetes with macroalbuminuria: an observational study from JDNCS. *Clin Exp Nephrol* 22(2):377-387, 2018.
42. Kon S, Konta T, Ichikawa K, Asahi K, Yamagata K, Fujimoto S, Tsuruya K, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Iseki K, Moriyama T, Kondo M, Watanabe T: Association between renal function and cardiovascular and all-cause mortality in the community-based elderly population: results from the Specific Health Check and Guidance Program in Japan. *Clin Exp Nephrol* 22(2):346-352, 2018.
43. Hara A, Wada T, Sada KE, Amano K, Dobashi H, Harigai M, Takasaki Y, Yamada H, Hasegawa H, Hayashi T, Fujimoto S, Muso E, Kawakami T, Homma S, Yoshida M, Hirahashi J, Ogawa N, Ito S, Makino H, Arimura Y; Research Committee on Intractable Vasculitides and the Strategic Study Group to Establish the Evidence for Intractable Vasculitis Guideline: Risk Factors for Relapse of Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-associated Vasculitis in Japan: A Nationwide, Prospective Cohort Study. *J Rheumatol* 45(4):521-528, 2018.
44. Iseki K, Konta T, Asahi K, Yamagata K, Fujimoto S, Tsuruya K, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Moriyama T, Kondo M, Iseki C, Watanabe T; "Design of the Comprehensive Health Care System for Chronic Kidney Disease (CKD) Based on the Individual Risk Assessment by Specific Health Check": Glucosuria and all-cause mortality among general screening participants. *Clin Exp Nephrol* 22(4):850-859, 2018.
45. Kimura Y, Yamamoto R, Shinzawa M, Isaka Y, Iseki K, Yamagata K, Tsuruya K, Yoshida H, Fujimoto S, Asahi K, Moriyama T, Watanabe T: Alcohol consumption and incidence of proteinuria: a retrospective cohort study. *Clin Exp Nephrol* 22(5):1133-1142, 2018.
46. Wada T, Muso E, Maruyama S, Hara A, Furuichi K, Yoshimura K, Miyazaki M, Sato E, Abe M, Shibagaki Y, Narita I, Yokoyama H, Mori N, Yuzawa Y, Matsubara T, Tsukamoto T, Wada J, Ito T, Masutani K, Tsuruya K, Fujimoto S, Tsuda A, Suzuki H, Kasuno K, Terada Y, Nakata T, Iino N, Kobayashi S: Rationale and study design of a clinical trial to assess the effects of LDL apheresis on proteinuria in diabetic patients with severe proteinuria and dyslipidemia. *Clin Exp Nephrol* 22(3):591-596, 2018.
47. Sato Y, Fujimoto S, Konta T, Iseki K, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Narita I, Kondo M, Kasahara M, Shibagaki Y, Asahi K, Watanabe T: Anemia as a risk factor for all-cause mortality: obscure synergic effect of chronic kidney disease. *Clin Exp Nephrol* 2018 Apr;22(2):388-394.
48. Iseki K, Konta T, Asahi K, Yamagata K, Fujimoto S, Tsuruya K, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Moriyama T, Kondo M, Iseki C, Watanabe T: Dipstick proteinuria and all-cause mortality among the general population. *Clin Exp Nephrol* 22(6):1331-1340, 2018.
49. Iseki K, Konta T, Asahi K, Yamagata K, Fujimoto S, Tsuruya K, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Moriyama T, Kondo M, Iseki C, Watanabe T; 'Design of the Comprehensive Health Care System for Chronic Kidney Disease (CKD) Based on the Individual Risk Assessment by Specific Health Check'. Association of dipstick hematuria with all-cause mortality in the general population: results from the specific health check and guidance program in Japan. *Nephrol Dial Transplant* 33(5):825-832, 2018.
50. Kubota W, Honda M, Okada H, Hattori M, Iwano M, Akioka Y, Ashida A, Kawasaki Y, Kiyomoto H, Sako M, Terada Y, Hirano D, Fujieda M, Fujimoto S, Masaki T, Ito S,

- Uemura O, Gotoh Y, Komatsu Y, Nishi S, Maru M, Narita I, Maruyama S: A consensus statement on health-care transition of patients with childhood-onset chronic kidney diseases: providing adequate medical care in adolescence and young adulthood. *Clin Exp Nephrol* 22(4):743-751, 2018.
51. Watanabe H, Sada KE, Matsumoto Y, Harigai M, Amano K, Dobashi H, Fujimoto S, Usui J, Yamagata K, Atsumi T, Banno S, Sugihara T, Arimura Y, Matsuo S, Makino H; For Japan Research Committee of the Ministry of Health Labour, Welfare for Intractable Vasculitis (JPVAS) Research Committee of Intractable Renal Disease of the Ministry of Health Labour, Welfare of Japan: Association between reappearance of myeloperoxidase-antineutrophil cytoplasmic antibody and relapse in antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis: Subgroup analysis of nationwide prospective cohort studies. *Arthritis Rheumatol* 70(10):1626-1633, 2018.
52. Komatsu H, Fujimoto S, Maruyama S, Mukoyama M, Sugiyama H, Tsuruya K, Sato H, Soma J, Yano J, Itano S, Nishino T, Sato T, Narita I, Yokoyama H: Distinct characteristics and outcomes in elderly-onset IgA vasculitis (Henoch-Schönlein purpura) with nephritis: Nationwide cohort study of data from the Japan Renal Biopsy Registry (J-RBR). *PLoS One* 13(5):e0196955, 2018.
53. Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Yokoyama H, Sugiyama H, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Sato T, Wada T, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Tsuruya K, Masutani K, Konta T, Shoji T, Hiramatsu T, Goto S, Tamai H, Nishio S, Shirasaki A, Nagai K, Yamagata K, Hasegawa H, Yasuda H, Ichida S, Naruse T, Fukami K, Nishino T, Sobajima H, Tanaka S, Akahori T, Ito T, Yoshio T, Katafuchi R, Fujimoto S, Okada H, Ishimura E, Kazama JJ, Hiromura K, Mimura T, Suzuki S, Saka Y, Sofue T, Suzuki Y, Shibagaki Y, Kitagawa K, Morozumi K, Fujita Y, Mizutani M, Shigematsu T, Kashihara N, Sato H, Matsuo S, Narita I, Isaka Y: Regional variations in immunosuppressive therapy in patients with primary nephrotic syndrome: the Japan nephrotic syndrome cohort study. *Clin Exp Nephrol* 22(6):1266-1280, 2018.
54. Otaki Y, Watanabe T, Konta T, Watanabe M, Fujimoto S, Sato Y, Asahi K, Yamagata K, Tsuruya K, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Iseki K, Moriyama T, Kondo M, Watanabe T: Effect of hypertension on aortic artery disease-related mortality - 3.8-year nationwide community-based prospective cohort study. *Circ J* 82(11):2776-2782, 2018.
55. Sato Y, Toida T, Nakagawa H, Iwakiri T, Nishizono R, Kikuchi M, Fujimoto S: Diminishing dry weight is strongly associated with all-cause mortality among long-term maintenance prevalent dialysis patients. *PLoS One* 13(8):e0203060, 2018.
56. Ogata E, Asahi K, Yamaguchi S, Iseki K, Sato H, Moriyama T, Yamagata K, Tsuruya K, Fujimoto S, Narita I, Konta T, Kondo M, Shibagaki Y, Kasahara M, Watanabe T, Shimabukuro M: Low fasting plasma glucose level as a predictor of new-onset diabetes mellitus on a large cohort from a Japanese general population. *Sci Rep* 8(1):13927, 2018.
57. 西 桂子, 小川 修, 戸井田 達典, 藤元 昭一: オンライン HDF 療法における薬剤除去率-血液透析療法との比較. *九州人工透析研究会誌* 3:5-8, 2018.
58. 岡田 浩一, 安田 宜成, 旭 浩一, 伊藤 孝史, 要 伸也, 神田 英一郎, 菅野 義彦, 四方 賢一, 柴垣 有吾, 土谷 健, 鶴屋 和彦, 長田 太助, 成田 一衛, 南学 正臣, 服部 元史, 濱野 高行, 藤元 昭一, 守山 敏樹, 山縣 邦弘, 山本 陵平, 若杉 三奈

- 子, 他, CKD 診療ガイド・ガイドライン改訂委員会: 日本腎臓学会エビデンスに基づく CKD 診療ガイドライン 2018. 日腎会誌 60(8):1037-1193, 2018.
59. 佐古 まゆみ, 三浦 健一郎, 芦田 明, 石倉 健司, 井上 勉, 後藤 芳充, 小松 康宏, 重松 隆, 杉山 斉, 寺野 千香子, 中西 浩一, 西尾 妙織, 幡谷 浩史, 藤元 昭一, 向山 政志, 吉矢 邦彦, 本田 雅敬, 岩野 正之, 服部 元史: 「小児慢性腎臓病患者における移行医療についての提言」と「思春期・青年期の患者のための CKD 診療ガイド」の認知度、理解度、活用度に関するアンケート調査の報告. 日腎会誌 60(7): 972-977, 2018.
60. 菊池正雄, 藤元昭一: F. 腎臓内科へコンサルト 浮腫. もっとうまくいく! 病診連携の「伝え方」-わかりやすく伝えるための診療情報提供書作成のコツ. (第 11 章)<診療科別>コンサルトのポイント 内科 122(3):586-588, 2018.
61. 福田顕弘, 藤元昭一: 「IgA 腎症診療ガイドライン 2017」~ 2014 年版との変更点を中心に ~ 難治性腎疾患マネージメント. エビデンスに基づく新しい腎臓病診療. 最新医学 73(12):1624-1632, 2018.
62. 臼井丈一, 山縣邦弘: 第 2 編第 4 章第 4 節 プレシジョン・メディシンの腎臓内科疾患への応用、医療革命プレシジョン・メディシン研究最前線、佐藤孝明他監修、株式会社エヌ・ティー・エス、p311-318、2018 年 10 月
63. 荒川洋, 臼井丈一: 6 章. 慢性腎不全診療の実際 Q29. CKD ステージ G3b~5 患者の腎排泄性薬剤投与時の投与方法を教えてください. 腎臓専門医のための CKD 診療 Q&A、山縣邦弘ら編、東京医学社、p127-129、2018 年 11 月
64. 臼井丈一: 第 6 章免疫血清 8. 抗好中球細胞質抗体 (ANCA) 透析患者の検査値の読み方、改訂第 4 版、深川雅史監修、日本メディカルセンター、p297、2019 年 1 月
65. 臼井丈一: 第 6 章免疫血清 9. 抗糸球体基底膜 (GBM) 抗体、透析患者の検査値の読み方、改訂第 4 版、深川雅史監修、日本メディカルセンター、p298、2019 年 1 月
66. 臼井丈一: 急速進行性腎炎症候群 (RPGN) year note TOPICS 2019-2020、メディックメディア、pE8-E10、2019 年 3 月 44) 遠藤修一郎、柳田素子: 「急性腎障害 up-to-date」(循環器内科 Vol185.No1 Jan 2019)(科学評論社)
67. 平橋 淳一: 【血管炎(第 2 版)-基礎と臨床のクロストーク-】 最新の研究トピックス 基礎研究の進歩 抗ラクトフェリン抗体と ANCA 関連血管炎 日本臨床 76(増刊 6 血管炎(第 2 版)) 488-491 2018 年 7 月
68. 美馬亨, 大矢昌樹, 根木茂雄, 重松隆: トシリズマブと TNF 阻害薬の新血管安全性に対する比較. リウマチ科 59(6): 647-652, 2018.
69. 尾田高志, 吉澤信行: 抗ストレプトリジン O (ASO), 抗ストレプトキナーゼ (ASK). 透析患者の検査値の読み方 第 4 版 出版社: 日本メディカルセンター, 深川 雅史・監・花房規男・鶴屋和彦・駒場大峰・編 2019 年 1 月 10 日 ISBN: 9784888753104
70. Essential points from Evidence-based Clinical Practice Guidelines for Chronic Kidney Disease 2018. Japanese Society of Nephrology. Clin Exp Nephrol. 2018. Clin Exp Nephrol 23: 1-15, 2019.
71. Kato H, Miyakawa Y, Hidaka Y, Inoue N, Ito S, Kagami S, Kaname S, Matsumoto M, Mizuno M, Matsuda T, Shimono A, Maruyama S, Fujimura Y, Nangaku M, Okada H.: Safety and effectiveness of eculizumab for adult patients with atypical hemolytic-uremic syndrome in Japan: interim analysis of post-marketing surveillance. Clin Exp Nephrol. 2019 Jan;23(1):65-75.
72. Yakushiji H, Hashimura C, Fukuoka K, Kaji A, Miyahara H, Kaname S, Horiuchi T: A missense mutation of the plasminogen gene in hereditary angioedema with normal C1 inhibitor in Japan. Allergy. 2018; 73:2244-2247.
73. Higashihara E, Yamamoto K, Kaname S, Okegawa T, Tanbo M, Yamaguchi T, Shigemori K, Miyazaki I, Yokoyama K,

- Nutahara K: Age- and height-adjusted total kidney volume growth rate in autosomal dominant polycystic kidney diseases. *Clin Exp Nephrol* 2018. doi: 10.1007/s10157-018-1617-8. [Epub ahead of print]
74. Kato H, Miyakawa Y, Hidaka Y, Inoue N, Ito S, Kagami S, Kaname S, Matsumoto M, Mizuno M, Matsuda T, Shimono A, Maruyama S, Fujimura Y, Nangaku M, Okada H: Safety and effectiveness of eculizumab for adult patients with atypical hemolytic-uremic syndrome in Japan: interim analysis of post-marketing surveillance. *Clin Exp Nephrol* 2018. doi: 10.1007/s10157-018-1609-8. [Epub ahead of print]
75. Saraya T, Fukuoka K, Maruno H, Komagata Y, Fujiwara M, Kaname S, Arimura Y, Yamada A, Takizawa H: Tenosynovitis with Rice Body Formation Due to Mycobacterium Intracellulare Infection After Initiation of Infliximab Therapy. *Am J Case Rep* 2018;19:656-662.
76. Higashihara E, Horie S, Kinoshita M, Harris PC, Okegawa T, Tanbo M, Hara H, Yamaguchi T, Shigemori K, Kawano H, Miyazaki I, Kaname S, Nutahara K: A potentially crucial role of the PKD1 C-terminal tail in renal prognosis. *Clin Exp Nephrol* 2018; 22:395-404.
77. Ryoya Tsunoda, Joichi Usui, Junichi Hoshino, Takayuki Fujii, Satoshi Suzuki, Kenmei Takaichi, Yoshifumi Ubara, Kunihiro Yamagata. Corticosteroids pulse therapy and oral corticosteroids therapy for IgA nephropathy patients with advanced chronic kidney disease: results of a multicenter, large-scale, long-term observational cohort study. *BMC Nephrology* 19: 222, 2018
78. Kunihiro Yamagata, Joichi Usui, Michio Nagata, Hitoshi Sugiyama, Ken-ei Sada, Eri Muso, Masayoshi Harigai, Koichi Amano, Tatsuya Atsumi, Shouichi Fujimoto, Yukio Yuzawa, Masaki Kobayashi, Takao Saito, Takafumi Ito, Nobuhito Hirawa, Sakae Homma, Hiroaki Dobashi, Naotake Tsuboi, Akihiro Ishizu, Yoshihiro Arimura, Hirofumi Makino, Seiichi Matsuo, and for Research Committee of Intractable Renal Disease and Research Committee of Intractable Vasculitis Syndrome of the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan. Histopathological classification of anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated glomerulonephritis in a nationwide Japanese prospective 2-year follow-up cohort study. *Clin Exp Nephrol* 23: 387-394, 2019
79. Kunihiro Yamagata, Joichi Usui, Hitoshi Sugiyama, Shoichi Maruyama, Ichiei Narita. Temporal change in life and renal prognosis of rapidly progressive glomerulonephritis in Japan via nationwide questionnaire survey. *Clin Exp Nephrol* 2018 in press
80. Aika Suzuki, Susumu Sakamoto, Atsuko Kurosaki, Yasuyuki Kurihara, Keita Satoh, Yusuke Usui, Toshihiro Nanki, Yoshihiro Arimura, Hirofumi Makino, Yasunori Okada, Masayoshi Harigai, Kunihiro Yamagata, Hitoshi Sugiyama, Hiroaki Dobashi, Akihiro Ishizu, Naotake Tsuboi, Joichi Usui, Ken-ei Sada, Sakae Homma, and for Research Committee of Intractable Vasculitis Syndrome and Research Committee of Intractable Renal Disease of the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan. Chest high-resolution CT findings of microscopic polyangiitis: a Japanese first nationwide prospective cohort study. *AJR* 213: 1-11, 2019
81. 横山千恵、臼井丈一、萩原正大、高野恵輔、大河内信弘、南木融、川上康、山縣邦弘：尿中ポドサイト数の推移を確認した移植腎巣状分節性糸球体硬化症の1例、日本臨床腎移植学会雑誌 6(1)：87-89, 2018
82. 臼井丈一、山縣邦弘：7. 抗GBM病(1)疫学・病態、血管炎(第2版)日本臨床増刊号、p377-381、2018年7月

- 83.高橋真由美、臼井丈一：免疫抑制薬、月刊薬事 60(16): 62-67、2018年12月
- 84.Yamanouchi M, Hoshino J, Ubara Y, Takaichi K, Kinowaki K, Fujii T, Ohashi K, Mise K, Toyama T, Hara A, Kitagawa K, Shimizu M, Furuichi K, Wada T. Value of adding the renal pathological score to the kidney failure risk equation in advanced diabetic nephropathy. *PLoS One*. 13(1): e0190930, 2018
- 85.Hoshino J, Furuichi K, Yamanouchi M, Mise K, Sekine A, Kawada M, Sumida K, Hiramatsu R, Hasegawa E, Hayami N, Suwabe T, Sawa N, Hara S, Fujii T, Ohashi K, Kitagawa K, Toyama T, Shimizu M, Takaichi K, Ubara Y, Wada T. A new pathological scoring system by the Japanese classification to predict renal outcome in diabetic nephropathy. *PLoS One*. 13(2): e0190923, 2018
- 86.Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Yokoyama H, Sugiyama H, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Sato T, Wada T, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Tsuruya K, Masutani K, Konta T, Shoji T, Hiramatsu T, Goto S, Tamai H, Nishio S, Shirasaki A, Nagai K, Yamagata K, Hasegawa H, Yasuda H, Ichida S, Naruse T, Fukami K, Nishino T, Sobajima H, Tanaka S, Akahori T, Ito T, Yoshio T, Katafuchi R, Fujimoto S, Okada H, Ishimura E, Kazama JJ, Hiromura K, Mimura T, Suzuki S, Saka Y, Sofue T, Suzuki Y, Shibagaki Y, Kitagawa K, Morozumi K, Fujita Y, Mizutani M, Shigematsu T, Kashihara N, Sato H, Matsuo S, Narita I, Isaka Y. Regional variations in immunosuppressive therapy in patients with primary nephrotic syndrome: the Japan nephrotic syndrome cohort study. *Clin Exp Nephrol*. 22(6):1266-1280, 2018
- 87.Shimizu M, Furuichi K, Toyama T, Funamoto T, Kitajima S, Hara A, Iwata Y, Sakai N, Takamura T, Kitagawa K, Yoshimura M, Kaneko S, Yokoyama H, Wada T; Kanazawa Study Group for Renal Diseases and Hypertension. Association of renal arteriosclerosis and hypertension with renal and cardiovascular outcomes in Japanese type 2 diabetic patients with diabetic nephropathy. *J Diabetes Investig*. 2018 Dec 5. doi: 10.1111/jdi.12981. [Epub ahead of print]
- 88.Takaya Handa、Hiroko Kakita、Yu Tateishi、Tomomi Endo、Hiroyuki Suzuki、Toshiro Katayama、Tatsuo Tsukamoto、Eri Muso : The features in IgA-dominant infection-related glomerulonephritis distinct from IgA nephropathy:a single-center study:Clinical and Experimental Nephrology 2018 Oct : 22(5):pp1116-1127
- 89.Kawasaki A, Yamashita K, Hirano F, Sada KE, Tsukui D, Kondo Y, Kimura Y, Asako K, Kobayashi S, Yamada H, Furukawa H, Nagasaka K, Sugihara T, Yamagata K, Sumida T, Tohma S, Kono H, Ozaki S, Matsuo S, Hashimoto H, Makino H, Arimura Y, Harigai M, Tsuchiya N. Association of ETS1 polymorphism with granulomatosis with polyangiitis and proteinase 3-anti-neutrophil cytoplasmic antibody positive vasculitis in a Japanese population. *J Hum Genet*. 63 : 55-62, 2018
- 90.Hara A, Wada T, Sada KE, Amano K, Dobashi H, Harigai M, Takasaki Y, Yamada H, Hasegawa H, Hayashi T, Fujimoto S, Muso E, Kawakami T, Homma S, Yoshida M, Hirahashi J, Ogawa N, Ito S, Makino H, Arimura Y; Research Committee on Intractable Vasculitides and the Strategic Study Group to Establish the Evidence for Intractable Vasculitis. Risk Factors for Relapse of Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-associated Vasculitis in Japan: A Nationwide, Prospective Cohort Study. *J Rheumatol*.45:521-528, 2018
- 91.Nagasaka K, Harigai M, Hagino N, Hara A, Horita T, Hayashi T, Itabashi M, Ito S, Katsumata Y, Kawashima S, Naniwa T,

- Sada KE, Nango E, Nakayama T, Tsutsumino M, Yamagata K, Homma S, Arimura Y. 2018 Systematic Review and Meta-analysis for 2017 Clinical Practice Guidelines of the Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis for the Management of ANCA-associated Vasculitis. *Mod Rheumatol*. 25:1-11, 2018
92. Watanabe H, Sada KE, Matsumoto Y, Harigai M, Amano K, Dobashi H, Fujimoto S, Usui J, Yamagata K, Atsumi T, Banno S, Sugihara T, Arimura Y, Matsuo S, Makino H; For Japan Research Committee of the Ministry of Health Labour, Welfare for Intractable Vasculitis (JPVAS) Research Committee of Intractable Renal Disease of the Ministry of Health Labour, Welfare of Japan. Association between reappearance of myeloperoxidase-antineutrophil cytoplasmic antibody and relapse in antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis: Subgroup analysis of nationwide prospective cohort studies. *Arthritis Rheumatol*. 70:1626-1633, 2018
93. Kawaguchi T, Yoshida T, Hirahashi J, Uehara T, Takenouchi T, Kosaki K, Itoh H, Hayashi M.: Expanding Phenotype of Nephronophthisis-Related Ciliopathy: an Elderly Patient with Homozygous RPGRIP1L Mutation. *Nephron*. 2018;140(1):74-78. doi: 10.1159/000490770. Epub 2018 Jul 10.
94. Okubo K, Kurosawa M, Kamiya M, Urano Y, Suzuki A, Yamamoto K, Hase K, Homma K, Sasaki J, Miyauchi H, Hoshino T, Hayashi M, Mayadas TN, Hirahashi J. Macrophage extracellular trap formation promoted by platelet activation is a key mediator of rhabdomyolysis-induced acute kidney injury. *Nat Med*. 24(2):232-238 (2018)
95. 廣村桂樹, 諏訪絢也, 池内秀和: 腎疾患診療の未来 最新知見のエッセンシャル 腎疾患の新たな治療の可能性: ループス腎炎治療薬の進歩. *診断と治療*. 2018; 106:500-504.
96. 廣村桂樹, 諏訪絢也, 池内秀和: 腎臓病のエンドポイント: ループス腎炎のエンドポイント. *日本腎臓学会誌*. 2018; 60:601-606.
97. 池内秀和, 廣村桂樹: 最近のループス腎炎治療: カルシニューリン阻害薬ならびにマルチターゲット療法の可能性. *日本医事新報*. 2019; 4947. 36-42.
98. 廣村桂樹, 諏訪絢也, 池内秀和: 膠原病の難治性病変: 難治性ループス腎炎. *臨床リウマチ* 2019; 30:215-223.
99. 廣村桂樹: 血管炎(第2版) -基礎と臨床のクロストーク- 小型血管炎: 抗 GBM 病. *診断・治療*. *日本臨床*. 2018; 76(増刊6): 382-387.
100. 池内秀和, 諏訪絢也, 廣村桂樹: 難治性ループス腎炎のマネジメント: リウマチ科. 2019; 60:315-321.
101. Iwashita Y, Ohya M, Yashiro M, Sonou T, Kawakami K, Nakashima Y, Yano T, Iwashita Y, Mima T, Negi S, Kubo K, Tomoda K, Odamaki T, Shigematsu T: Dietary changes involving Bifidobacterium longum and other nutrients delays CKD progression. *Am J Nephrol*, 47(5): 325-332, 2018.
102. Kojima T, Hirose G, Komatsu S, Oshima T, Sugisaki K, Tomiyasu T, Yoshikawa N, Yamada M, Oda T: Development of anti-glomerular basement membrane glomerulonephritis during the course of IgA nephropathy: a case report. *BMC Nephrol*. 2019 Jan 25;20(1):25. doi: 10.1186/s12882-019-1207-3.
103. Kohatsu K, Suzuki T, Yazawa M, Yahagi K, Ichikawa D, Koike J, Oda T, Shibagaki Y.: Granulomatosis With Polyangiitis Induced by Infection. *Kidney Int Rep*. 2018 Sep 26;4(2):341-345. doi: 10.1016/j.ekir.2018.09.010. eCollection 2019 Feb.
104. Ito S, Uchida T, Oshima N, Oda T, Kumagai H: Development of

- membranoproliferative glomerulonephritis-like glomerulopathy in a patient with neutrophilia resulting from endogenous granulocyte-colony stimulating factor overproduction: a case report. *BMC Nephrol.* 2018 Oct 4;19(1):251. doi: 10.1186/s12882-018-1049-4.
105. Okabe M, Takamura T, Tajiri A, Tsuboi N, Ishikawa M, Ogura M, Ohashi R, Oda T, Yokoo T: A case of infection-related glomerulonephritis with massive eosinophilic infiltration. *Clin Nephrol.* 2018 Aug;90(2):142-147. doi: 10.5414/CN109415.
106. Komaru Y, Ishioka K, Oda T, Ohtake T, Kobayashi S: Nephritis-associated plasmin receptor (NAP1r) positive glomerulonephritis caused by *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* bacteremia: A case report. *Clin Nephrol.* 2018 Aug;90(2):155-160. doi: 10.5414/CN109173.
107. 水野 裕基, 小黒 昌彦, 関根 章成, 川田 真宏, 平松 里佳子, 住田 圭一, 長谷川 詠子, 山内 真之, 早見 典子, 澤 直樹, 星野 純一, 乳原 善文, 高市 憲明, 原 茂子, 藤井 丈士, 大橋 健一, 小野江 為人, 川野 充弘, 森 崇寧, 蘇原 映誠, 内田 信一, 本田 一穂, 尾田 高志: 腎生検所見から何を学ぶか(No.62) 東京腎生検カンファレンス 常染色体優性遺伝形式の間質性腎炎の家族歴を有し遺伝子検査でADTKD-UMODと診断された男性の1例. 腎と透析 2018 85(4): 587-594.
108. Umino H, Hasegawa K, Minakuchi H, Muraoka H, Kawaguchi T, Kanda T, Tokuyama H, Wakino S, Itoh H.: High Basolateral Glucose Increases Sodium-Glucose Cotransporter 2 and Reduces Sirtuin-1 in Renal Tubules through Glucose Transporter-2 Detection. *Sci Rep.* 2018 May 1;8(1):6791. doi: 10.1038/s41598-018-25054-y.
109. Combined cyclosporine and prednisolone therapy using cyclosporine blood concentration monitoring for adult patients with new-onset minimal change nephrotic syndrome. Shirai S, Imai N, Sueki S, Matsui K, Tominaga N, Sakurada T, Yasuda T, Kimura K, Shibagaki Y. *Clin Exp Nephrol.* 2018; 22: 283-290.
110. Post-transplant immunoglobulin A deposition and nephropathy in allografts. Sofue T, Suzuki H, Ueda N, Kushida Y, Minamino T. *Nephrology* 2018; 23 (Suppl.2): 1-6
111. Nonproteinuric Versus Proteinuric Phenotypes in Diabetic Kidney Disease: A Propensity Score-Matched Analysis of a Nationwide, Biopsy-Based Cohort Study. Yamanouchi M, Furuichi K, Hoshino J, Toyama T, Hara A, Shimizu M, Kinowaki K, Fujii T, Ohashi K, Yuzawa Y, Kitamura H, Suzuki Y, Sato H, Uesugi N, Hisano S, Ueda Y, Nishi S, Yokoyama H, Nishino T, Samejima K, Kohagura K, Shibagaki Y, Mise K, Makino H, Matsuo S, Ubara Y, Wada T; Research Group of Diabetic Nephropathy, the Ministry of Health, Labour and Welfare, and the Japan Agency for Medical Research and Development. *Diabetes Care.* 2019 [Epub ahead of print]
112. A case of biopsy-proven oxaliplatin-induced acute tubulointerstitial nephritis with thrombocytopenia and anemia. Yamada S, Yazawa M, Yamamoto M, Koitabashi K, Ichikawa D, Koike J, Shibagaki Y. *CEN Case Rep.* 2019 [Epub ahead of print]
113. Granulomatosis With Polyangiitis Induced by Infection. Kohatsu K, Suzuki T, Yazawa M, Yahagi K, Ichikawa D, Koike J, Oda T, Shibagaki Y. *Kidney Int Rep.* 2018; 4(2):341-345.
114. A Case of Self-Limiting Crescentic Immunoglobulin A Glomerulonephritis Associated with Sternoclavicular Arthritis. Fujita Y, Suzuki T, Han W, Watanabe S, Yahagi K, Nakata M, Okamoto

- T, Ichikawa D, Koike J, Shibagaki Y. Case Rep Nephrol Dial. 2018; 8: 246-252.
115. Tubulointerstitial Nephritis Associated with Enteritis and Sacroiliitis. Ushimaru S, Ichikawa D, Yazawa M, Suzuki T, Okada E, Koike J, Shibagaki Y. Intern Med. 2019; 58: 79-84.
116. Dipstick proteinuria and all-cause mortality among the general population. Iseki K, Konta T, Asahi K, Yamagata K, Fujimoto S, Tsuruya K, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Moriyama T, Kondo M, Iseki C, Watanabe T. Clin Exp Nephrol. 2018; 22: 1331-1340.
117. Rapid and Complete Remission of Class IV Lupus Nephritis with Massive Wire Loop Lesions. Suzuki T, Matsumura R, Kitamura H, Shibagaki Y. Case Rep Nephrol Dial. 2018; 8: 56-61.
- 96) Can nutcracker phenomenon cause glomerular hematuria? Suzuki T, Imai N, Hisamichi M, Ichikawa D, Koike J, Shibagaki Y. Nephrology (Carlton). 2018; 23: 495.
118. Regional variations in immunosuppressive therapy in patients with primary nephrotic syndrome: the Japan nephrotic syndrome cohort study. Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Yokoyama H, Sugiyama H, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Sato T, Wada T, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Tsuruya K, Masutani K, Konta T, Shoji T, Hiramatsu T, Goto S, Tamai H, Nishio S, Shirasaki A, Nagai K, Yamagata K, Hasegawa H, Yasuda H, Ichida S, Naruse T, Fukami K, Nishino T, Sobajima H, Tanaka S, Akahori T, Ito T, Yoshio T, Katafuchi R, Fujimoto S, Okada H, Ishimura E, Kazama JJ, Hiromura K, Mimura T, Suzuki S, Saka Y, Sofue T, Suzuki Y, Shibagaki Y, Kitagawa K, Morozumi K, Fujita Y, Mizutani M, Shigematsu T, Kashihara N, Sato H, Matsuo S, Narita I, Isaka Y. Clin Exp Nephrol. 2018; 22: 1266-1280.
119. Emphysematous cystitis and spontaneous sigmoid colon perforation in a patient with steroid-dependent nephrotic syndrome. Kojima S, Imai N, Yamamoto M, Taki Y, Kaneshiro N, Shibagaki Y. Nephrology (Carlton). 2018; 23: 287.
120. Therapeutic efficacy of rituximab for the management of adult-onset steroid-dependent nephrotic syndrome: a retrospective study. Katsuno T, Masuda T, Saito S, Kato N, Ishimoto T, Kato S, Kosugi T, Tsuboi N, Kitamura H, Tsuzuki T, Ito Y, Maruyama S. Clin Exp Nephrol. 2019; 23: 207-214.
121. Liddle's-like syndrome associated with nephrotic syndrome secondary to membranous nephropathy: the first case report. Yamaguchi E, Yoshikawa K, Nakaya I, Kato K, Miyasato Y, Nakagawa T, Kakizoe Y, Mukoyama M, Soma J. BMC Nephrol. 2018; 19: 122.
122. Investigation on the benefits of mycophenolate mofetil and therapeutic drug monitoring in the treatment of Japanese patients with lupus nephritis. Katsuno T, Ozeki T, Ozeki T, Hachiya A, Kim H, Kato N, Ishimoto T, Kato S, Kosugi T, Tsuboi N, Mizuno M, Ito Y, Maruyama S. Clin Exp Nephrol. 2018; 22: 1341-1350.
123. Ozeki T, Katsuno T, Hayashi H, Kato S, Yasuda Y, Ando M, Tsuboi N, Hagiwara D, Arima H, Maruyama S. Short-term Steroid Regimen for Adult Steroid-sensitive Minimal Change Disease. Am J Nephrol. 2019; 49: 54-63
124. Ozeki T, Ando M, Yamaguchi M, Katsuno T, Kato S, Yasuda Y, Tsuboi N, Maruyama S. Treatment Patterns and Steroid Dose for Adult Minimal Change Disease Relapses: A Retrospective Cohort Study. PLoS One. 2018 Jun 18; 13(6): e0199228.
125. 合併症対策とエビデンス 脂質異常症、耐糖能異常. 石本 卓嗣, 湯澤 由紀夫. 腎

- と透析(0385-2156)85 巻 6
号 Page859-863(2018.12)
- 126.治療のエビデンスとその構築 成人ネフローゼ症候群 ステロイドの使い方. 丸山 彰一, 尾関 貴哉, 石本 卓嗣, 勝野 敬之. 腎と透析(0385-2156)85 巻 6
号 Page801-806(2018.12)
- 127.MCNS と Lupus podocytopathy の鑑別を要した 1 例. 石田 智子, 山本 理恵, 増田 智広, 斎藤 尚二, 加藤 規利, 石本 卓嗣, 小杉 智規, 坪井 直毅, 丸山 彰一 日本腎臓学会誌(0385-2385)60 巻 6
号 Page729(2018.08)
- 128.ネフローゼ症候群の診断と治療の進歩. 丸山 彰一, 秋山 真一, 勝野 敬之, 石本 卓嗣, 坪井 直毅. 最新医学(0370-8241)73 巻 8
号 Page1106-1114(2018.08)
- 129.腎臓内科へコンサルト ネフローゼ症候群. 石本 卓嗣. 内科(0022-1961)122 巻 3 号 Page589-591(2018.09)
- 130.Inoue T, Luo Y, Seto T, Suzuki H, Okada H. Glomerular solidification is associated with nephritis-related clinical parameters in IgA nephropathy. **Renal Failure** 2019, 41, 893-898
- 131.Niihata K, Nishiwaki H, Kurita N, Okada H, Maruyama S, Narita I, Shibagaki Y, Nakaya I. Variations in actual practice patterns and their deviations from the clinical practice guidelines for nephrotic syndrome in Japan: certified nephrologists' questionnaire survey. **Clin Exp Nephrol** 2019, 23, 1288-1297
- 132.Sueyoshi K, Watanabe Y, Inoue T, Ohno Y, Nakajima H, Okada H. Predictors of long-term prognosis in acute kidney injury survivors who require continuous renal replacement therapy after cardiovascular surgery. **PLoS One** 2019, 14, e0211429
- 133.Sugiyama K, Inoue T, Kozawa E, Ishikawa M, Shimada A, Kobayashi N, Tanaka J, Okada H. Reduced oxygenation but not fibrosis defined by functional magnetic resonance imaging predicts the long-term progression of chronic kidney disease. **Nephrol Dial Transplant** [Epub ahead of print]
- 134.Amano H, Ohno Y, Inoue T, Tomori K, Ohama K, Okada H. Regional prescription surveillance of phosphate binders in the western Saitama area: the substantial role of ferric citrate hydrate in improving serum phosphorus levels and erythropoiesis. **Clin Exp Nephrol** 2019, 23, 841-851
- 135.Kato H, Miyakawa Y, Hidaka Y, Inoue N, Ito S, Kagami S, Kaname S, Matsumoto M, Mizuno M, Matsuda T, Shimono A, Maruyama S, Fujimura Y, Nangaku M, Okada H. Safety and effectiveness of eculizumab for adult patients with atypical hemolytic-uremic syndrome in Japan: interim analysis of post-marketing surveillance. **Clin Exp Nephrol** 2019, 23, 65-75
- 136.Ito S, Hidaka Y, Inoue N, Kaname S, Kato H, Matsumoto M, Miyakawa Y, Mizuno M, Okada H, Shimono A, Matsuda T, Maruyama S, Fujimura Y, Nangaku M, Kagami S. Safety and effectiveness of eculizumab for pediatric patients with atypical hemolytic-uremic syndrome in Japan: interim analysis of post-marketing surveillance. **Clin Exp Nephrol** 2019, 23, 112-121
- 137.Inoue T, Luo Y, Seto T, Suzuki H, Okada H. Glomerular solidification is associated with nephritis-related clinical parameters in IgA nephropathy. **Renal Failure** 2019, 41, 893-898
- 138.Niihata K, Nishiwaki H, Kurita N, Okada H, Maruyama S, Narita I, Shibagaki Y, Nakaya I. Variations in actual practice patterns and their deviations from the clinical practice guidelines for nephrotic syndrome in Japan: certified nephrologists' questionnaire survey. **Clin Exp Nephrol** 2019, 23, 1288-1297

139. Sueyoshi K, Watanabe Y, Inoue T, Ohno Y, Nakajima H, Okada H. Predictors of long-term prognosis in acute kidney injury survivors who require continuous renal replacement therapy after cardiovascular surgery. **PLoS One** 2019, 14, e0211429
140. Sugiyama K, Inoue T, Kozawa E, Ishikawa M, Shimada A, Kobayashi N, Tanaka J, Okada H. Reduced oxygenation but not fibrosis defined by functional magnetic resonance imaging predicts the long-term progression of chronic kidney disease. **Nephrol Dial Transplant** [Epub ahead of print]
141. Amano H, Ohno Y, Inoue T, Tomori K, Ohama K, Okada H. Regional prescription surveillance of phosphate binders in the western Saitama area: the substantial role of ferric citrate hydrate in improving serum phosphorus levels and erythropoiesis. **Clin Exp Nephrol** 2019, 23, 841-851
142. Kato H, Miyakawa Y, Hidaka Y, Inoue N, Ito S, Kagami S, Kaname S, Matsumoto M, Mizuno M, Matsuda T, Shimono A, Maruyama S, Fujimura Y, Nangaku M, Okada H. Safety and effectiveness of eculizumab for adult patients with atypical hemolytic-uremic syndrome in Japan: interim analysis of post-marketing surveillance. **Clin Exp Nephrol** 2019, 23, 65-75
143. Ito S, Hidaka Y, Inoue N, Kaname S, Kato H, Matsumoto M, Miyakawa Y, Mizuno M, Okada H, Shimono A, Matsuda T, Maruyama S, Fujimura Y, Nangaku M, Kagami S. Safety and effectiveness of eculizumab for pediatric patients with atypical hemolytic-uremic syndrome in Japan: interim analysis of post-marketing surveillance. **Clin Exp Nephrol** 2019, 23, 112-121
144. Akimoto Y, Yan K, Miura Y, Tsumoto H, Toda T, Fukutomi T, Sugahara D, Kudo A, Arai T, Chiba Y, Kaname S, et al. O-GlcNAcylation and phosphorylation of -actin serine199 in diabetic nephropathy. **Am J Physiol Renal Physiology** 317:1359-1374
145. Ito S, Hidaka Y, Inoue N, Kaname S, Kato H, Matsumoto M, Miyakawa Y, Mizuno M, Okada H, Shimono A, Matsuda T, Maruyama S, Fujimura Y, Nangaku M, Kagami S. Safety and effectiveness of eculizumab for pediatric patients with atypical hemolytic-uremic syndrome in Japan: interim analysis of post-marketing surveillance. **Clin Exp Nephrol** 23:112-121
146. Higashihara E, Yamamoto K, Kaname S, Okegawa T, Tanbo M, Yamaguchi T, Shigemori K, Miyazaki I, Yokoyama K, Nutahara K. Age- and height-adjusted total kidney volume growth rate in autosomal dominant polycystic kidney diseases. **Clin Exp Nephrol** 23:100-111
147. Fukuoka K, Miyamoto A, Ozawa Y, Ikegaya N, Maesono T, Komagata Y, Kaname S, Arimura Y. Adult-onset Still's disease-like manifestation accompanying cancer recurrence after long-term remission. **Mod Rheumatol** 29:704-707
148. Kato H, Miyakawa Y, Hidaka Y, Inoue N, Ito S, Kagami S, Kaname S, Matsumoto M, Mizuno M, Matsuda T, Shimono A, Maruyama S, Fujimura Y, Nangaku M, Okada H. Safety and effectiveness of eculizumab for adult patients with atypical hemolytic-uremic syndrome in Japan: interim analysis of post-marketing surveillance. **Clin Exp Nephrol** 23:65-75
149. Isobe M, Amano K, Arimura Y, Ishizu A, Ito S, Kaname S, et al.; JCS Joint Working Group. JCS2017 Guideline for Management of Vasculitis Syndrome. **Circulation** 136:359-369
150. Yuki Yokoe, Naotake Tsuboi, Takahiro Imaizumi, Akimitsu Kitagawa, Munetoshi Karasawa, Takaya Ozeki, Nobuhide Endo, Yuriko Sawa, Sawako Kato, Takayuki Katsuno, Shoichi Maruyama, and Japan Research Committee of the Ministry of

- Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis and for Intractable Renal Disease; Kunihiro Yamagata, Joichi Usui, Michio Nagata, Ken-ei Sada, Hitoshi Sugiyama, Koichi Amano, Yoshihiro Arimura, Tatsuya Atsumi, Yukio Yuzawa, Hiroaki Dobashi, Yoshinari Takasaki, Masayoshi Harigai, Hitoshi Hasegawa, Hirofumi Makino, Seiichi Matsuo
- Clinical Impact of Urinary CD11b and CD163 on the Renal Outcomes of Anti-neutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Glomerulonephritis
- Nephrol Dial Transplant in press
151. Joichi Usui, Hirayasu Kai, Shuzo Kaneko, Mayumi Takahashi-Kobayashi, Masahiro Hagiwara, Kazuhiro Takahashi, Tatsuya Oda, Kunihiro Yamagata
- Kidney transplant patient with immunoglobulin A nephropathy subsequently diagnosed as concurrent autosomal dominant polycystic kidney disease during 17-year follow-up
- CEN Case Rep in press
152. Joichi Usui, Mourhege Al-Saloum, Alla Goldberg, Sheng Kuo, Steven P Salvatore, Surya V Seshan
- Membranoproliferative glomerulonephritis following tubulointerstitial nephritis is a late manifestation of IgG4-related kidney disease: a distinctive case
- Hum Pathol CR18200331
153. Reimi Nishida, Shuzo Kaneko, Joichi Usui, Tetsuya Kawamura, Ryoya Tsunoda, Takashi Tawara, Akiko Fujita, Kei Nagai, Hirayasu Kai, Naoki Morito, Chie Saito, Kunihiro Yamagata
- Plasma exchange is highly effective for ANCA-associated vasculitis patients with rapidly progressive glomerulonephritis who have advanced to dialysis dependence: A single-center case series
- Ther Apher Dial 23(3)253-260
154. Aika Suzuki, Susumu Sakamoto, Atsuko Kurosaki, Yasuyuki Kurihara, Keita Satoh, Yusuke Usui, Toshihiro Nanki, Yoshihiro Arimura, Hirofumi Makino, Yasunori Okada, Masayoshi Harigai, Kunihiro Yamagata, Hitoshi Sugiyama, Hiroaki Dobashi, Akihiro Ishizu, Naotake Tsuboi, Joichi Usui, Ken-ei Sada, Sakae Homma, and for Research Committee of Intractable Vasculitis Syndrome and Research Committee of Intractable Renal Disease of the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan
- Chest high-resolution CT findings of microscopic polyangiitis: a Japanese first nationwide prospective cohort study
- Am J Roentgenol 213(1)-11 155.
- Kunihiro Yamagata, Joichi Usui, Hitoshi Sugiyama, Shoichi Maruyama, Ichiei Narita
- Temporal change in life and renal prognosis of rapidly progressive glomerulonephritis in Japan via nationwide questionnaire survey
- Clin Exp Nephrol 23(4)573-575
156. 高橋真由美、臼井丈一
- 多発血管炎性肉芽腫症腎と透析 87(2)225-231
157. Isobe M, Amano K, Arimura Y, Ishizu A, Ito S, Kaname S, Kobayashi S, Komagata Y, Komuro I, Komori K, Takahashi K, Tanemoto K, Hasegawa H, Harigai M, Fujimoto S, Miyazaki T, Miyata T, Yamada H, Yoshida A, Wada T, Inoue Y, Uchida HA, Ota H, Okazaki T, Onimaru M, Kawakami T, Kinouchi R, Kurata A, Kosuge H, Sada KE, Shigematsu K, Suematsu E, Sueyoshi E, Sugihara T, Sugiyama H, Takeno M, Tamura N, Tsutsumino M, Dobashi H, Nakaoka Y, Nagasaka K, Maejima Y, Yoshifuji H, Watanabe Y, Ozaki S, Kimura T, Shigematsu H, Yamauchi-Takahara K, Murohara T, Momomura SI; JCS Joint Working Group.
- JCS 2017 Guideline on Management of Vasculitis Syndrome - Digest Version.
- Circ J. 84(2)299-359
158. Watanabe H, Sada KE, Matsumoto Y, Harigai M, Amano K, Fujimoto S, Dobashi H, Yuzawa Y, Yamagata K, Muso E, Arimura Y, Makino H.
- Rationale of concomitant cyclophosphamide for

- remission-induction in patients with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis: A propensity score-matched analysis of two nationwide prospective cohort studies. *Mod Rheumatol*. 1-9
159. Morishita M, Sada KE, Matsumoto Y, Hayashi K, Asano Y, Hiramatsu Asano S, Ohashi K, Miyawaki Y, Katsuyama E, Watanabe H, Kawabata T, Wada J. Risk factors for cytomegalovirus infection in patients with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis. *PLoS One*. 14e0218705
160. Namba N, Kawasaki A, Sada KE, Hirano F, Kobayashi S, Yamada H, Furukawa H, Shimada K, Hashimoto A, Matsui T, Nagasaka K, Sugihara T, Suzuki A, Yamagata K, Sumida T, Tohma S, Homma S, Ozaki S, Hashimoto H, Makino H, Arimura Y, Harigai M, Tsuchiya N; Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis (JPVAS). Association of MUC5B promoter polymorphism with interstitial lung disease in myeloperoxidase-antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis. *Ann Rheum Dis*. 78(8)1144-1146
161. Yamagata K, Usui J, Nagata M, Sugiyama H, Sada KE, Muso E, Harigai M, Amano K, Atsumi T, Fujimoto S, Yuzawa Y, Kobayashi M, Saito T, Ito T, Hirawa N, Homma S, Dobashi H, Tsuboi N, Ishizu A, Arimura Y, Makino H, Matsuo S; Research Committee of Intractable Renal Disease and the Research Committee of Intractable Vasculitis Syndrome of the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan. Histopathological classification of anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated glomerulonephritis in a nationwide Japanese prospective 2-year follow-up cohort study. *Clin Exp Nephrol*. 23(3)387-394
162. Ohya M, Iwashita Y, Kunimoto S, Yamamoto S, Mima T, Negi S, Shigematsu T. Analysis of medication adherence and patient preference in long-term stable maintenance hemodialysis patients in Japan. *Intern Med*. 15;58(18)2595-2603
163. Miyamoto K, Kawazoe Y, Negi S, Shibata N, Ogawa A, Shima N, Kunitatsu K, Shima Y, Yamamoto N, Kaneko M, Kida M, Tanaka M, Ohya M, Shigematsu T, Kato S. Effect of prolonged direct hemoperfusion using a polymyxin B immobilized fiber cartridge on interleukin-6 concentration in patients with septic shock: a prospective exploratory trial. *Renal Replacement Therapy* 520
164. 重松隆, 大矢昌樹 日本発工ボカルセトの治療成績総括-世界への発信 -XXVI 66-75
165. 河上和紀, 大矢昌樹, 重松隆【血管石灰化の治療】29(2)231-236
166. 大矢昌樹 各診療科における高尿酸血症の診療の重要性 腎臓内科の立場から 4313
167. 大矢昌樹, 園生智広, 河上和紀, 屋代充, 重松隆【特集 軟部組織の石灰化-血管と心臓弁】1. 骨と血管の関連性 32(4)253-258
168. Yashiro M, Ohya M, Mima T, Kawakami K, Sonou T, Tanaka Y, Yano T, Kobayashi S, Yamamoto S, Negi S, Shigematsu T. Active vitamin D and vitamin analogs stimulate Fibroblast Growth Factor 23 production in osteocyte-like cells via vitamin D receptor. *Journal of pharmaceutical and biological analysis in press*
169. Higashiura M, Ohya M, Tanaka Y, Yamamoto S, Mima T, Negi S, Shigematsu T. Correlation between haemoglobin level and type of erythropoiesis-stimulating agent at initiation of haemodialysis. *Int J of Clin Pham in press*
170. Yashiro M, Ohya M, Mima T, Kawakami K, Sonou T, Tanaka Y, Yano T, Kobayashi

- S, Yamamoto S, Negi S, Shigematsu T. Excessive ADAM17 activation occurs in uremic patients and may contribute to their immunocompromised status. *Inflamm Disin press*
171. 平橋 淳一【NETs にまつわる様々な病態】NETs に対する治療戦略 *Thrombosis Medicine* 9 巻 4 号 325-332
172. 平橋 淳一【IgA 腎症-診断・治療の最新動向-】IgA 腎症の治療学 n-3 多価不飽和脂肪酸 *日本臨床* 77 巻 4 号 703 - 710
173. 大久保 光修、平橋 淳一 腎泌尿器疾患の災害医療 圧挫症候群における腎障害のメカニズム、2019. *腎臓内科・泌尿器科* 10 巻 3 号 260-265
174. 平橋 淳一【死細胞由来分子が巻き起こす炎症病態】急性腎障害における METs の関与とその制御炎症と免疫 27 巻 4 号 284-288
175. 大久保光修、平橋 淳一【全身性疾患と腎 update】(第 9 章)その他 横紋筋融解症・腎臓専門医の視点より腎と透析 86 巻増刊 491-493
176. Tanaka M, Kinoshita-Daitoku R, Kiga K, Sanada T, Zhu B, Okano T, Aikawa C, Iida T, Ogura Y, Hayashi T, Okubo K, Kurosawa M, Hirahashi J, Suzuki T, Nakagawa I, Nangaku M, Mimuro H. Group A *Streptococcus* establishes pharynx infection by degrading the deoxyribonucleic acid of neutrophil extracellular traps. *Sci Rep*10(1)3251
177. Yamagata K, Usui J, Nagata M, Sugiyama H, Sada KE, Muso E, Harigai M, Amano K, Atsumi T, Fujimoto S, Yuzawa Y, Kobayashi M, Saito T, Ito T, Hirawa N, Homma S, Dobashi H, Tsuboi N, Ishizu A, Arimura Y, Makino H, Matsuo S; Research Committee of Intractable Renal Disease and the Research Committee of Intractable Vasculitis Syndrome of the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan. Essential points from Evidence-based Clinical Practice Guidelines for Chronic Kidney Disease 2018. *Clin Exp Nephrol.* 23(1)1~15
178. Yamagata K, Hirahashi J et al. Histopathological classification of anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated glomerulonephritis in a nationwide Japanese prospective 2-year follow-up cohort study. Research Committee of Intractable Renal Disease and the Research Committee of Intractable Vasculitis Syndrome of the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan. *Clin Exp Nephrol*23(3)387-394
179. 北川清樹, 和田隆志 血漿交換療法の適応と現状. *日本医師会雑誌* 148(3)447-451
180. Tran TTT, Hara A, Kitagawa K, Kitajima S, Toyama T, Iwata Y, Sakai N, Shimizu M, Kaneko S, Furuichi K, Wada T. Relationship between autoantibodies to erythropoietin receptor and renal outcome in patients with anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis. *Biomarkers.*25(2)194-200
181. 廣村桂樹【Rheumatological emergency の診断と治療】急速進行性糸球体腎炎リウマチ科 62154-161
182. 廣村桂樹【全身性疾患と腎 update】(第 1 章)膠原病、血管炎、自己免疫疾患 全身性エリテマトーデス・腎臓専門医の視点より陣と透析 8614-17
183. 坂入徹, 廣村桂樹【腎疾患の新規治療薬】腎疾患に対する新規免疫抑制薬 *日腎会誌* 61507-514
184. 池内秀和, 廣村桂樹, 他【腎臓病のエンドポイント】ループス腎炎のエンドポイント医学のあゆみ 269531-535
185. 廣村桂樹, 池内秀和, 他 日本腎生検レジストリー(J-RBR)からみた、わが国のループス腎炎の実態 *腎臓内科・泌尿器科* 9297-303
186. Hoshino A, Hiromura K, et al. A relapsing case of pulmonary-renal syndrome after a sequential rise in MPO-ANCA and anti-GBM antibodies. *CEN Case Rep*8221-225
187. Sakairi T, Hiromura K, et al. Hypertrophic pachymeningitis associated with antineutrophil cytoplasmic

- antibody-associated vasculitis: a case series of 15 patients. *Scand JRheumatol* 48:218-224
188. Takei Y, Hiromura K, et al. Urinary Activin A is a novel biomarker reflecting renal inflammation and tubular damage in ANCA-associated vasculitis. *PLoS one* 14:e02237031.
189. Yano K, Suzuki H, Oda T, Ueda Y, Tsukamoto T, Muso E Crescentic poststreptococcal acute glomerulonephritis accompanied by small vessel vasculitis: case report of an elderly male. *BMC Nephrol.* 18;20(1)4711.
190. Hotta O, Oda T The epipharynx-kidney axis triggers glomerular vasculitis in immunoglobulin A nephropathy. *Immunol Res.* 67(4-5)304-3091.
191. Hirano D, Oda T, Ito A, Yamada A, Kakegawa D, Miwa S, Umeda C, Takemasa Y, Tokunaga A, Wajima T, Nakaminami H, Noguchi N, Ida H. Glyceraldehyde-3-phosphate dehydrogenase of *Mycoplasma pneumoniae* induces infection-related glomerulonephritis. *Clin Nephrol.* 92(5)263-2721.
192. Hotta O, Tanaka A, Oda T Chronic epipharyngitis: A missing background of IgA nephropathy. *Autoimmun Rev.* 18(8)835-8361.
193. Uchida T, Ito S, Kumagai H, Oda T, Nakashima H, Seki S Roles of Natural Killer T Cells and Natural Killer Cells in Kidney Injury. *Int J Mol Sci.* 20;20(10)pii: E24871.
194. Kojima T, Hirose G, Komatsu S, Oshima T, Sugisaki K, Tomiyasu T, Yoshikawa N, Yamada M, Oda T Development of anti-glomerular basement membrane glomerulonephritis during the course of IgA nephropathy: a case report. *BMC Nephrol.* 25;20(1)25
195. 今野 理, 佐口 徹, 沖原 正章, 横山 卓剛, 木原 優, 赤司 勲, 中村 有紀, 河地 茂行, 岩本 整, 尾田 高志 腎移植後リ
ンパ漏に対してリンパ管造影が有効であった2症例. *日本臨床腎移植学会雑誌* 7巻2号 197-200
196. 韓 蔚, 鈴木 智, 仲田 真由美, 渡邊 詩香, 市川 大介, 小池 淳樹, 尾田 高志, 鈴木 仁 光学顕微鏡所見、蛍光抗体法で多彩な像を呈した感染関連 IgA 腎症と考えた1例. *腎炎症例研究* 35巻 72-85
197. Takehiko Kawaguchi, Tasuku Nagasawa, Kazuhiko Tsuruya, Kenichiro Miura, Takayuki Katsuno, Takashi Morikawa, Eiji Ishikawa, Masao Ogura, Hideki Matsumura, Ryota Kurayama, Shinsuke Matsumoto, Yuhji Marui, Shigeo Hara, Shoichi Maruyama, Ichiei Narita, Hirokazu Okada, Yoshifumi Ubara, and the Committee of Practical Guide for Kidney Biopsy 2019. A Nationwide Survey on Clinical Practice Patterns and Bleeding Complications of Percutaneous Native Kidney Biopsy in Japan. *Clinical and Experimental Nephrology* 198.
198. Yamamoto R, Imai E, Maruyama S, Yokoyama H, Sugiyama H, Nitta K, Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Sato T, Wada T, Hayashi H, Akai Y, Fukunaga M, Tsuruya K, Masutani K, Konta T, Shoji T, Hiramatsu T, Goto S, Tamai H, Nishio S, Shirasaki A, Nagai K, Yamagata K, Hasegawa H, Yasuda H, Ichida S, Naruse T, Nishino T, Sobajima H, Tanaka S, Akahori T, Ito T, Terada Y, Katafuchi R, Fujimoto S, Okada H, Ishimura E, Kazama JJ, Hiromura K, Mimura T, Suzuki S, Saka Y, Sofue T, Suzuki Y, Shibagaki Y, Kitagawa K, Morozumi K, Fujita Y, Mizutani M, Shigematsu T, Kashihara N, Sato H, Matsuo S, Narita I, Isaka Y. Incidence of remission and relapse of proteinuria, end-stage kidney disease, mortality, and major outcomes in primary nephrotic syndrome: the Japan Nephrotic Syndrome Cohort Study (JNSCS). *Clin Exp Nephrol.*
199. Shirai S, Akiyama S, Kamijo-Ikemoni A, Suzuki T, Ichikawa D, Koike J, Kimura K, Shibagaki Y. Membranous nephropathy

- associated with thrombospondin type-1 domain-containing 7A (THSD7A) in an adult woman with eosinophilia. *CEN Case Rep.* 9(1)65-73.
200. Niihata K, Nishiwaki H, Kurita N, Okada H, Maruyama S, Narita I, Shibagaki Y, Nakaya I. Variations in actual practice patterns and their deviations from the clinical practice guidelines for nephrotic syndrome in Japan: certified nephrologists' questionnaire survey. *Clin Exp Nephrol.* 23(11)1288-1297.
201. Suzuki T, Ushimaru S, Uchida D, Watanabe S, Ichikawa D, Koike J, Mizuguchi H, Kawarazaki H, Shibagaki Y. Refractory THSD7A membranous nephropathy with severe asthma related to eosinophilia. *Clin Nephrol.* 92(2)103-108.
202. 尾関貴哉・丸山彰一成人微小変化型ネフローゼ症候群に対する短期ステロイド治療の可能性医学のあゆみ Vol.272 No.8p661-662
203. 尾関貴哉・丸山彰一腎臓病の分類：形態分類から病因分類へ J-RBR 登録項目の改訂について腎と透析 Vol.87 No.4p534-545
204. Masahiro Koizumi Podocyte Injury Augments Intrarenal Angiotensin II Generation and Sodium Retention in a Megalin-Dependent Manner. *Hypertension* 74:509-517
205. Shima Y, Nakanishi K, Hama T, Mukaiyama H, Sato M, Tanaka Y, Tanaka R, Kaito H, Nozu K, Sako M, Iijima K, Yoshikawa N. Crescentic IgA nephropathy in children. *Pediatr Nephrol* 35. Epub ahead of print
206. Shima Y, Nakanishi K, Sako M, Saito-Oba M, Hamasaki Y, Hataya H, Honda M, Kamei K, Ishikura K, Ito S, Kaito H, Tanaka R, Nozu K, Nakamura H, Ohashi Y, Iijima K, Yoshikawa N; Japanese Study Group of Kidney Disease in Children (JSKDC). Lisinopril versus lisinopril and losartan for mild childhood IgA nephropathy: a randomized controlled trial (JSKDC01 study). *Pediatr Nephrol* 34:837-846
207. Shima Y, Nakanishi K, Kaku Y, Ishikura K, Hataya H, Matsuyama T, Honda M, Sako M, Nozu K, Tanaka R, Iijima K, Yoshikawa N; Japanese Pediatric IgA Nephropathy Treatment Study Group. Combination therapy with or without warfarin and dipyridamole for severe childhood IgA nephropathy: an RCT. *Pediatr Nephrol* 33:2103-2112
208. Shima Y, Nakanishi K, Sato M, Hama T, Mukaiyama H, Togawa H, Tanaka R, Nozu K, Sako M, Iijima K, Suzuki H, Yoshikawa N. IgA nephropathy with presentation of nephrotic syndrome at onset in children. *Pediatr Nephrol* 32:457-465
209. Sean J. Barbour, MD, MSc; Rosanna Coppo, MD, FERA; Hong Zhang, MD, PhD; Zhi-Hong Liu, MD; Yusuke Suzuki, MD, PhD; Keiichi Matsuzaki, MD, PhD; Ritsuko Katafuchi, MD, PhD; Lee Er, MSc; Gabriela Espino-Hernandez, MSc; S. Joseph Kim, MD, PhD; Heather N. Reich, MD, PhD; John Feehally, FRCP; Daniel C. Cattran, MD, FRCP; for the International IgA Nephropathy Network. Evaluating a New International Risk-Prediction Tool. *JAMA Intern Med.* 179:942-952
210. 特集：IgA 腎症 診断・治療の最新動向。IV. IgA 腎症の治療学。4. 扁桃摘出術 + ステロイド・パルス療法日本臨床 77:679-685
211. 特集：今、糸球体疾患を考える 一次性糸球体疾患 IgA 腎症：ステロイド療法の適否腎と透析 86:535-540
212. 福田顕弘特集 IgA 腎症 診断・治療の最新動向。総論. IgA 腎症診療ガイドライン 2017 その特色。日本臨床 77:598-605
213. 高橋真由美、臼井丈一。間質性腎炎日本臨床 77(4):119-124

214. 臼井丈一 数週間の経過で進行する腎不全を呈した高齢患者内科 123(4)631-632
215. 平橋 淳一 横紋筋融解症による急性腎障害発症の新たなメカニズム医学のあゆみ 268 巻 7 号 587-588
216. Shinya Nakatani, Eiji Ishimura et, al. Long-Term Effects of High-Dose Tolvaptan for Autosomal Dominant Polycystic Kidney Disease Patients. Case Rep Nephrol Dial 10:9-17:2020
217. Muto S, Ando M, Nishio S, Hanaoka K, Ubara Y, Narita I, Kamura K, Mochizuki T, Tsuchiya K, Tsuruya K, Horie S. The relationship between liver cyst volume and QOL in Japanese ADPKD patients. Clin Exp Nephrol 24:614-322,2020
218. Sakuhara Y, Nishio S, Hattanda F, Soyama T, Takahashi B, Abo D, Mimura H. Initial experience with the use of tris-acryl gelatin microspheres for transcatheter arterial embolization for enlarged polycystic liver. Clin Exp Nephrol 23:825-833.2019
219. Akinari Sekine, Takuya Fujimaru, Junichi Hoshino, Tatsuya Suwabe, Masahiko Oguro, Hiroki Mizuno, Masahiro Kawada, Keiichi Sumida, Rikako Hiramatsu, Eiko Hasegawa, Masayuki Yamanouchi, Noriko Hayami, Shintaro Mandai*, Motoko Chiga, Hiroaki Kikuchi, Fumiaki Ando, Takayasu Mori, Eisei Sohara, Shinichi Uchida, Naoki Sawa, Kenmei Takaichi, Yoshifumi Ubara. Genotype-Clinical Correlations in Polycystic Kidney Disease with No Apparent Family History. Am J Nephrol 49;233-240,2019

2 . 学会発表

1. Komatsu H, Fujimoto S, Sugiyama H, Sato H, Yokoyama H: Prognosis of Henoch-Schönlein Purpura Nephritis among Adult and Elderly Patients: Nationwide Cohort Study Based on the Japan Renal Biopsy Registry. The American Society of Nephrology 50th Annual Meeting 2017.11 (New Orleans, LA)
2. 後藤眞, 塚口裕康, 渡辺博文, 土田雅史, 福田顕弘, 藤元昭一, 成田一衛: 家族性 IgA 腎症候補遺伝子を対象としたレアバリエーション関連解析。第 60 回日本腎臓学会学術総会 2017.5 (仙台市)
3. 石崎友梨, 落合彰子, 山下理沙, 皆川明大, 岩切太幹志, 西園隆三, 菊池正雄, 中川秀人, 佐藤祐二, 藤元昭一: IgA 腎症の経過中、皮膚感染を契機に急性糸球体腎炎を合併した一例。第 47 回日本腎臓学会西部学術大会 2017.10 (岡山)
4. 岡田浩一、Organization and Application of J-CKD-DB、口頭、第 60 回日本腎臓学会学術総会、2017/5/26、国内
5. 岡田浩一、ビッグデータベース構築の試み: J-CKD-DB から、口頭、第 60 回日本腎臓学会学術総会、2017/5/26、国内
6. 岡田浩一、CKD 診療ガイドライン・ガイド 2018 にむけて、口頭、第 47 回日本腎臓学会西部学術集会、2017/10/13、国内
7. 要 伸也: 膠原病と血管炎における腎障害の診方。教育講演。第 114 回日本内科学会講演会、東京、2017 年 4 月 16 日。
8. 要 伸也: 血管炎治療のガイドラインを考える: パネルディスカッション~腎臓の立場から~, 難治性血管炎に関する調査研究班合同シンポジウム, 第 61 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡, 2017 年 4 月 20 日。
9. 要 伸也: リウマチ医のための腎合併症の見方。教育研修講演。第 61 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡, 2017 年 4 月 21 日。
10. 要 伸也: よくわかるシリーズ 5 「免疫抑制薬の作用機序と使い方」, 第 60 回日本腎臓学会総会, 仙台, 2017 年 5 月 26 日。
11. 要 伸也: 大学病院における IPW の現状, シンポジウム 透析医療における多職種医療連携 IPW。第 62 回日本透析医学会総会, 横浜, 2017 年 6 月 18 日。
12. 要 伸也: aHUS の疾患概念と治療の実際。第 47 回日本腎臓学会東部学術大会, トワイライトセミナー, 東京, 2017 年 10 月

28日.

13. 要 伸也: 腎臓病療養指導士聖堂について. シンポジウム CKD の療養指導とチーム医療, 第 47 回日本腎臓学会東部学術大会, 東京, 2017 年 10 月 29 日.

14. 要 伸也: ANCA 関連血管炎の診断と治療. 厚生労働科学研究費補助金事業 難治性血管炎に関する調査研究班主催 市民公開講座, 難治性血管炎診療の最新情報, 大阪, 2018 年 1 月 14 日.

15. Kaname S: The Certified Kidney Disease Educator system, International Society of Nephrology (ISN) Frontiers, Panel discussion: A multidisciplinary CKD team care and expectations for the Certified Kidney Disease Educator in Japan, Tokyo, February 25, 2018.

16. 要 伸也: 腎臓病療養指導士について. 平成 29 年度慢性腎臓病 (CKD) シンポジウム, 厚生労働省主催, 東京, 2018 年 3 月 8 日.

17. 西久保愛里、角田亮也、植田敦志、斎藤知栄、臼井丈一、山縣邦弘: 透析離脱し得た抗 GBM 抗体腎炎の一例、第 62 回日本透析医学会学術集会・総会、横浜、2017 年 6 月

18. 臼井丈一、山縣邦弘: シンポジウム 1 血管炎に対するアフェレシス療法、抗糸球体基底膜腎炎に対するアフェレシス療法、第 38 回日本アフェレシス学会学術大会、浦安、2017 年 10 月

19. 金子修三、河村哲也、臼井丈一、山縣邦弘: シンポジウム 2 アフェレシス療法の腎臓病への新たな視点、我が国における RPGN への血漿交換療法、第 38 回日本アフェレシス学会学術大会、浦安、2017 年 10 月

20. 三木康祐、河村哲也、臼井丈一、永井恵、藤田亜紀子、金子修三、甲斐平康、森戸直記、斎藤知栄、山縣邦弘: ANCA 関連腎炎初期治療におけるシクロホスファミド併用の生命予後への寄与、第 47 回日本腎臓学会東部学術大会、横浜、2017 年 10 月

21. Kawamura T, Miki K, Usui J, Nagai K,

Fujita A, Kaneko S, Kai H, Morito N, Saito C, Yamagata K: Comparison of initial therapy in patients with ANCA-associated renal vasculitis: A single center retrospective cohort. ISN Frontiers meetings, Tokyo, 2018 Feb

22. 岡田 浩一. CKD における血圧管理. 第 41 回日本高血圧学会総会 旭川

23. 小野 淳, 友利 浩司, 井上 勉, 岡田 浩一. 血液透析を導入した 75 歳以上の高齢者の生命予後と導入前の血清アルブミン変動の検討. 第 61 回日本腎臓学会学術総会 新潟

24. 山本 陵平, 伊藤 孝史, 江川 雅博, 松井 浩輔, 名波 正義, 長澤 康行, 岡田 浩一. 慢性腎臓病患者における運動療法の有効性 systematic review. 第 61 回日本腎臓学会学術総会 新潟

25. 大久保 麗子 (筑波大学 医学医療系保健医療政策学・医療経済学), 近藤 正英, 岡田 浩一, 成田 一衛, 和田 隆志, 柏原 直樹, 山縣 邦弘. 進行期 CKD 患者の運動習慣と生活について REACH-J-CKD コホート研究より. 第 61 回日本腎臓学会学術総会 新潟

26. 甲斐 平康, 永井 恵, 星野 純一, 岡田 浩一, 成田 一衛, 和田 隆志, 柏原 直樹, 山縣 邦弘. 進行期 CKD 患者の蛋白・塩分摂取量に関する検討 REACH-J-CKD コホート研究より. 第 61 回日本腎臓学会学術総会 新潟

27. 星野 純一, 永井 恵, 角田 亮也, 甲斐 平康, 大久保 麗子, 斎藤 知栄, 近藤 正英, 岡田 浩一, 成田 一衛, 和田 隆志, 柏原 直樹, 山縣 邦弘. 進行期 CKD 患者の原疾患分布と腎機能低下速度の検討 REACH-J-CKD コホート研究より. 第 61 回日本腎臓学会学術総会 新潟

28. 玉垣 圭一, 三原 悠, 岡田 浩一, 成田 一衛, 和田 隆志, 柏原 直樹, 山縣 邦弘. 進行期 CKD 患者における心血管疾患の既往 REACH-J-CKD コホート研究より. 第 61 回日本腎臓学会学術総会 新潟

29. 角田 亮也, 永井 恵, 星野 純一, 岡田 浩一, 成田 一衛, 和田 隆志, 柏原 直樹, 山縣 邦弘. 進行期 CKD 患者の原疾患分

- 布,CKD ステージ毎の家庭血圧の測定状況の検討 REACH-J-CKD コホート研究より. 第61回日本腎臓学会学術総会 新潟
30. 斎藤 知栄, 永井 恵, 星野 純一, 岡田 浩一, 成田 一衛, 和田 隆志, 柏原 直樹, 山縣 邦弘. 進行期 CKD 患者への腎代替療法の情報提供の時期と内容について REACH-J-CKD コホート研究より. 第61回日本腎臓学会学術総会 新潟
31. 山本 陵平, 宮里 賢和, 藤井 良幸, 高橋 和也, 秋山 大一郎, 古屋 文彦, 岡田 浩一, 北村 健一郎. 慢性腎臓病患者における肺炎球菌ワクチンの有効性 Systematic Review. 第61回日本腎臓学会学術総会 新潟
32. 青木 克憲, 長谷川 祥子, 木村 良紀, 松隈 祐太, 猪阪 善隆, 岡田 浩一, 鶴屋 和彦, 山本 陵平. CKD 患者におけるスタチン治療 Systematic Review and Meta-Analysis. 第61回日本腎臓学会学術総会 新潟
33. 安田 宜成, 板野 祐也, 岡崎 雅樹, 岡田 浩一, 成田 一衛, 和田 隆志, 柏原 直樹, 山縣 邦弘, 丸山 彰一. 慢性腎臓病患者の癌合併に関する研究 REACH-J-CKD. 第61回日本腎臓学会学術総会 新潟
34. 杉山 圭, 井上 勉, 小澤 栄人, 石川 雅浩, 小林 直樹, 田中 淳司, 岡田 浩一. 腎皮質の低酸素状態は慢性腎臓病を進行させる. 第61回日本腎臓学会学術総会 新潟
35. Sato Y, Fujimoto S: Diminishing dry weight strongly associates mortality among prevalent long-term maintained dialysis patients. 55th ERA-EDTA Congress 2018.5 (Copenhagen, Denmark)
36. Toid T, Sato Y, Kitamura K, Fujimoto S: Predialysis and postdialysis uric acid difference and risk of long-term all-cause and cardiovascular mortality in Japanese hemodialysis patients; Miyazaki Dialysis Cohort study (MID study). 55th ERA-EDTA Congress 2018.5 (Copenhagen, Denmark)
37. Fukuda A, Sato Y, Minakawa A, Kikuchi M, Fujimoto S: Urinary excretion of podocyte mRNA is risk prediction biomarkers in progression of diabetic nephropathy: 2-year follow up study. The American Society of Nephrology 51th Annual Meeting 2018.10 (San Diego, CA, USA)
38. Toida T, Sato Y, Ogata S, Wada A, Masakane I, Fujimoto S: Synergic impact of BMI, diabetes, and age on long-term mortality in incident Japanese hemodialysis patients: A cohort study of the large national dialysis registry. The American Society of Nephrology 51th Annual Meeting 2018.10 (San Diego, CA, USA)
39. Minakawa A, Fukuda A, Kikuchi M, Sato Y, Fujimoto S: Urine podocin: nephrin mRNA ratio (PNR) associates activity of crescentic necrotizing glomerulonephritis (CNGN). The American Society of Nephrology 51th Annual Meeting 2018.10 (San Diego, CA, USA)
40. Nishimoto M, Yamagata K, Konta T, Fujimoto S, Narita I, Kasahara M, Shibagaki Y, Moriyama T, Kondo M, Watanabe T, Tagawa M, Tsuruya K, Matsui M, Eriguchi M, Samejima K, Iseki K, Iseki C, Asahi K: Prediction model for cardiovascular death including proteinuria and estimated glomerular filtration rate in a general population. The American Society of Nephrology 51th Annual Meeting 2018.10 (San Diego, CA, USA)
41. 今田恒夫, 守山敏樹, 柴垣有吾, 笠原正登, 成田一衛, 藤元昭一, 井関邦敏, 山縣邦弘, 鶴屋和彦, 近藤正英, 旭浩一, 渡辺毅: 特定健診男性受診者における血清尿酸値と生命予後の関連. 第51回日本痛風・核酸代謝学会総会 2018.2 (米子)
42. 藤元昭一: 血管炎診療 Up to date. 第61回日本腎臓学会学術総会 2018.6 (新潟市)
43. 佐藤祐二, 藤元昭一: シンポジウム 8、IgA 腎症治療の新展開. IgA 腎症に対する免疫抑制療法の是非 ~ STOP-IgAN, TESTING 研

究を踏まえて～ 第 61 回日本腎臓学会学術総会 2018.6 (新潟市)

44. 古郷博紀、落合彰子、皆川明大、岩切太幹志、西園隆三、菊池正雄、中川秀人、佐藤祐二、藤元昭一：コレステロール結晶塞栓症(CCE)に対し、LDL アフェレーシス(LDL-A)と少量ステロイド併用療法が有効であった維持血液透析患者の一例。日本内科学会ことはじめ 2018 京都 2018.4 (京都)

45. 徳田温子、佐藤祐二、皆川明大、新屋琴子、岩切太幹志、西園隆三、菊池正雄、中川秀人、藤元昭一：リツキシマブをスケジュール投与中に妊娠し、出産した難治性ネフローゼ症候群の一例。日本内科学会ことはじめ 2018 京都 2018.4 (京都)

46. 福田顕弘、皆川明大、菊池正雄、佐藤祐二、黒澤寛之、原正則、藤元昭一：糸球体疾患における尿沈査ポドサイト mRNA 排泄量と尿上清ポドカリキシン蛋白定量の意義。第 61 回日本腎臓学会学術総会 2018.6 (新潟市)

47. 皆川明大、福田顕弘、菊池正雄、佐藤祐二、藤元昭一：カロリー制限による糖尿病性腎症改善機序 糸球体・ポドサイト容積ミスマッチ、mTORC1 抑制を介して 第 61 回日本腎臓学会学術総会 2018.6 (新潟市)

48. 村澤昌、古澤彩美、内田大介、木戸亮、河原崎宏雄、渡辺毅、井関邦敏、守山敏樹、山縣邦弘、鶴屋和彦、藤元昭一、今田恒夫、成田一衛、近藤正英、笠原正登、旭浩一、柴垣有吾：慢性腎臓病の有無による歩行速度と死亡の関係 第 61 回日本腎臓学会学術総会 2018.6 (新潟市)

49. 木村良紀、山本陵平、猪阪善隆、井関邦敏、山縣邦弘、鶴屋和彦、吉田英昭、藤元昭一、旭浩一、守山敏樹、渡辺毅：CKD 患者における飲酒量と腎機能予後：後向きコホート研究。第 61 回日本腎臓学会学術総会 2018.6 (新潟市)

50. 新屋琴子、皆川明大、岩切太幹志、菊池正雄、佐藤祐二、藤元昭一：膜性腎症の組織型を呈した IgG1-Kappa 型 PGNMID の一例。第 48 回日本腎臓学会西部学術大会 2018.9 (徳島)

51. 石崎友梨、海老原尚、麻生久美子、新屋

琴子、皆川明大、岩切太幹志、中川秀人、西園隆三、菊池正雄、佐藤祐二、藤元昭一：異なる組織像を呈した ANCA 陽性ループス腎炎(LN)の 2 例。第 48 回日本腎臓学会西部学術大会 2018.9 (徳島)

52. 茅野正行、落合彰子、山下理沙、皆川明大、西園隆三、菊池正雄、佐藤祐二、藤元昭一：持続する蛋白尿と近位尿細管障害から診断に至った Light chain proximal tubulopathy (LCPT) の一例。第 48 回日本腎臓学会西部学術大会 2018.9 (徳島)

53. 海老原尚、石崎友梨、麻生久美子、新屋琴子、皆川明大、岩切太幹志、西園隆三、中川秀人、菊池正雄、佐藤祐二、藤元昭一：巣状糸球体硬化症(FSGS)によるネフローゼ症候群(NS)に対してリツキシマブ(RTX)が著効した一例。第 48 回日本腎臓学会西部学術大会 2018.9 (徳島)

54. 皆川明大、福田顕弘、菊池正雄、佐藤祐二、藤元昭一：カロリー制限は糸球体・ポドサイト容積ミスマッチと mTORC1 抑制を介して糖尿病性腎症の進行を抑制する。第 30 回腎と脂質研究会 2018.3.10 (大阪)

55. Kaname S, Sada K: A nation-wide prospective cohort study in Japanese patients with ANCA-associated vasculitis (AAV). ERA-EDTA-JSN joint symposium, 55th ERA-EDTA Congress, Copenhagen, May 25, 2018.

56. 要 伸也：妊娠関連 TMA に関する aHUS の鑑別と管理：aHUS の疾患概念と治療の実際。第 54 回日本周産期・新生児医学会学術集会 ランチョンセミナー9、東京、2018 年 7 月 9 日。

57. 要 伸也：難治性腎疾患と分子標的薬 (リツキサンなど)：ANCA 関連腎炎。第 61 回日本腎臓学会学術総会 サテライトシンポジウム、さいたま、2018 年 7 月 29 日。

58. 要 伸也：二次性腎疾患の最近の知見：ANCA 関連血管炎・腎炎の最新知見。第 48 回日本腎臓学会東部学術大会 ワークショップ 2、東京、2018 年 10 月 21 日。

59. 要 伸也：膠原病・血管炎に伴う腎障害の診断と治療．日本内科学会関東支部主催第 58 回生涯教育講演会プログラム、東京、2018 年 7 月 15 日．
60. 要 伸也：保存期から透析に至る CKD のトータルケア：腎臓病療養指導士制度について．第 63 回日本透析医学会 シンポジウム 11、神戸、2018 年 7 月 1 日
61. 要 伸也：aHUS の疾患概念と治療の実際．第 48 回日本腎臓学会西部学術大会 ランチョンセミナー9、徳島、2018 年 9 月 29 日．
62. 三木康祐、河村哲也、臼井丈一、永井恵、藤田亜紀子、金子修三、甲斐平康、森戸直記、斎藤知栄、山縣邦弘：ANCA 関連腎炎初期治療におけるシクロホスファミド併用の生命予後への寄与、医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ 2018 京都、京都、2018 年 4 月
63. 秋山知希、金子修三、角田亮也、河村哲也、藤田亜紀子、森戸直記、甲斐平康、臼井丈一、斎藤知栄、上杉憲子、長田道夫、山縣邦弘：好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）の腎病変の臨床・病理学的特徴、第 61 回日本腎臓学会学術総会、新潟、2018 年 6 月
64. 西岡ひかり、田原 敬、金子修三、角田亮也、藤田亜紀子、甲斐平康、森戸直記、斎藤知栄、臼井丈一、山縣邦弘：多発腎動脈瘤など中型血管炎病変を伴った ANCA 関連血管炎の 1 例、東京、第 644 回日本内科学会関東地方会、東京、2018 年 9 月
65. 西田嶺美、金子修三、河村哲也、田原敬、角田亮也、藤田亜紀子、甲斐平康、森戸直記、臼井丈一、斎藤知栄、山縣邦弘：ANCA 関連急速進行性糸球体腎炎（ANCA 関連 RPGN）における血漿交換療法の透析離脱効果、第 39 回日本アフェレシス学会学術大会、岡山、2018 年 10 月
66. 臼井丈一、山縣邦弘：シンポジウム 10 膠原病・リウマチ性疾患の難治性病態に対するアフェレシス、急速進行性糸球体腎炎に対するアフェレシス、第 39 回日本アフェレシス学会学術大会、岡山、2018 年 10 月
67. 川嶋 聡子：MPO-ANCA 関連腎炎における糸球体毛細血管傷害の病理組織学的検討 - MPO・CD20・Plasma Cell の関与 - ．第 61 回 日本腎臓学会総会、新潟、2018 年 6 月 9 日
68. Kawashima S, Sano K, Fukuoka K, Karube M, Kudoh A, Komagata A, Kaname S: The role of MPO, Plasma cell and CD20 in the pathogenesis of human MPO-ANCA-associated glomerulonephritis. ASN 2018, San Diego, October 25, 2018.
69. Karube M, Kawashima S, Kaname S: B cell suppression and relapse of vasculitis in maintenance therapy of rituximab for granulomatosis with polyangiitis. ASN 2018, San Diego, October 25, 2018.
70. 北川清樹, 安藤舞, 相良明宏, 古市賢吾, 和田隆志．ANCA 関連腎炎の臨床病理所見および予後の変遷．第 62 回日本リウマチ学会総会 ワークショップ．東京．2018 年 4 月 28 日．
71. 北川清樹：アフェレシス研修会関連企画「みんなで考えよう！この症例でのアフェレシス治療は？」（抗 GBM 抗体型腎炎）．第 39 回日本アフェレシス学会学術大会 岡山．2018 年 10 月 27 日
72. 米本智美、遠藤知美、垣田浩子、鈴木洋行、武曾恵理、塚本達雄：北野病院における慢性腎臓病（CKD）地域連携診療のアウトカム調査：第 61 回日本腎臓学会学術総会 2018.6.8-10 新潟
73. 森田元、鈴木洋行、林綾乃、櫻木実、平井大輔、垣田浩子、遠藤知美、井村嘉孝、武曾恵理、塚本達雄：IgA 型抗糸球体基底膜腎炎を合併した全身性エリテマトーデスの一例：第 48 回日本腎臓学会西部学術大会 2018.9.28-29 徳島
74. 林綾乃、櫻木実、平井大輔、森田元、垣

田浩子、遠藤知美、鈴木洋行、武曾惠理、塚本達雄：消化管出血を契機に診断された多発血管炎肉芽腫症の一例(ポスター)：第48回日本腎臓学会西部学術大会 2018.9.28-29 徳島

75.林綾乃、櫻木実、平井大輔、森田元、垣田浩子、遠藤知美、鈴木洋行、塚本達雄、藤田晶昭、井村嘉孝：腎クリーゼ、血栓性微小血管障害を伴う全身性強皮症に対して血漿交換を施行した1例：第39回日本アフエレス学会学術大会 2018.10.25-27 岡山

76.Haruki Watanabe, Ken-Ei Sada, Yoshinori Matsumoto, Masayoshi Harigai, Hirofumi Makino on behalf of Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis (JPVAS) Effectiveness of remission-induction therapy with concomitant cyclophosphamide and glucocorticoid for microscopic polyangiitis and granulomatosis with polyangiitis in Japan: a propensity score matched analysis of two nationwide prospective cohort studies 第19回欧州リウマチ学会 アムステルダム 2018年6月13日~16日

77.S. Fukui, K. Ichinose, K.-E. Sada, M. Harigai, A. Kawakami, on behalf of Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis (JPVAS) Complement factors of the alternative pathway in gpa and mpa 第19回欧州リウマチ学会 アムステルダム 2018年6月13日~16日

78.Haruki Watanabe, Ken-Ei Sada, Yoshinori Matsumoto, Masayoshi Harigai, Hirofumi Makino on behalf of Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis (JPVAS) Effectiveness of remission-induction therapy with concomitant

Cyclophosphamide and glucocorticoid for patients with microscopic polyangiitis and granulomatosis with polyangiitis in Japan 第20回アジア太平洋リウマチ学会 高雄 2018年9月6日~9日

79.Yasuhiro Katsumata, Ken-ei Sada, Tomohiro Kameda, Hiroaki Dobashi, Hisashi Yamanaka and Masayoshi Harigai Comparison of Various ANCA Detection Methods in Predominantly MPO ANCA-Associated Vasculitis Cohort 2018 ACR/ARHP Annual Meeting Chicago 2018年10月19日~24日

80.Nozomi Yokoyama, Aya Kawasaki, Takashi Matsushita, Hiroshi Furukawa, Yuya Kondo, Fumio Hirano, Ken-ei Sada, Isao Matsumoto, Makio Kusaoi, Hirofumi Amano, Shohei Nagaoka, Keigo Setoguchi, Tatsuo Nagai, Kota Shimada, Shouji Sugii, Atsushi Hashimoto, Toshihiro Matsui, Akira Okamoto, Noriyuki Chiba, Eiichi Suematsu, Shigeru Ohno, Masao Katayama, Kiyoshi Migita, Hajime Kono, Minoru Hasegawa, Shigeto Kobayashi, Hidehiro Yamada, Kenji Nagasaka, Takahiko Sugihara, Kunihiro Yamagata, Shoichi Ozaki, Manabu Fujimoto, Naoto Tamura, Yoshinari Takasaki, Hiroshi Hashimoto, Hirofumi Makino, Yoshihiro Arimura, Masayoshi Harigai, Shinichi Sato, Takayuki Sumida, Shigeto Tohma, Kazuhiko Takehara and Naoyuki Tsuchiya. Association of GTF2I Region Polymorphism with Systemic Lupus Erythematosus and Systemic Sclerosis, but Not with ANCA-Associated Vasculitis and Polymyositis/Dermatomyositis, in a Japanese Population 2018 ACR/ARHP Annual Meeting Chicago 2018年10月19日~24日

81.Aya Kawasaki, Ken-ei Sada, Fumio Hirano, Shigeto Kobayashi, Hidehiro Yamada, Hiroshi Furukawa, Kenji Nagasaka, Takahiko Sugihara, Kunihiro Yamagata, Takayuki Sumida, Shigeto Tohma, Shoichi Ozaki, Hiroshi Hashimoto, Hirofumi

- Makino, Yoshihiro Arimura, Masayoshi Harigai and Naoyuki Tsuchiya Association of HLA Class II Alleles with Relapse and Interstitial Lung Disease in Myeloperoxidase (MPO) -ANCA Positive Vasculitis in a Japanese Population 2018 ACR/ARHP Annual Meeting Chicago 2018年10月19日~24日
82. Yuka Iwahashi, Aya Kawasaki, Takayo Tsuchiura, Ken-ei Sada, Fumio Hirano, Daisuke Tsukui, Shigeto Kobayashi, Hidehiro Yamada, Hiroshi Furukawa, Kenji Nagasaka, Takahiko Sugihara, Nao Nishida, Kunihiro Yamagata, Takayuki Sumida, Shigeto Tohma, Shoichi Ozaki, Hiroshi Hashimoto, Hirofumi Makino, Yoshihiro Arimura, Hajime Kono, Masayoshi Harigai and Naoyuki Tsuchiya Detection of Association of Long Noncoding RNA ATP6V0E2-AS1 Single Nucleotide Polymorphism with Susceptibility to Myeloperoxidase-ANCA Associated Vasculitis Based on Transcriptome Analysis 2018 ACR/ARHP Annual Meeting Chicago 2018年10月19日~24日
83. 佐田 憲映, 原 章規, 和田 隆志, 本間 栄, 針谷 正祥 クラスター解析を用いた ANCA 関連血管炎の分類と重症度に関する検討 第 62 回 日本リウマチ学会総会・学術集会 東京 2018/4/26-28
84. 浅井 玲央, 川崎 綾, 平野 史生, 佐田 憲映, 小林 茂人, 山田 秀裕, 古川 宏, 長坂 憲治, 杉原 毅彦, 山縣 邦弘, 住田 孝之, 當間 重人, 尾崎 承一, 橋本 博史, 榎野 博史, 有村 義宏, 針谷 正祥, 土屋 尚之 日本人集団における ANCA 関連血管炎と proteinase 3 遺伝子 (PRTN3) 領域多型の関連 第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会 東京 2018/4/26-28
85. 川崎 綾, 平野 史生, 佐田 憲映, 小林 茂人, 山田 秀裕, 古川 宏, 長坂 憲治, 杉原 毅彦, 山縣 邦弘, 住田 孝之, 當間 重人, 尾崎 承一, 橋本 博史, 榎野 博史, 有村 義宏, 針谷 正祥, 土屋 尚之 日本人 ANCA 関連血管炎の HLA-class II ヨーロッパ系集団との比較 第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会 東京 2018/4/26-28
86. Haruki Watanabe, Ken-ei Sada, Yoshinori Matsumoto, Masayoshi Harigai, Hirofumi Makino Reappearance of MPO-ANCA is associated with relapse in ANCA-associated vasculitis; a nationwide nested case-control study 第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会 東京 2018/4/26-28
87. 長坂 憲治, 佐田 憲映, 駒形 嘉紀, 堤野 みち, 針谷 正祥, 有村 義宏 血管炎診療の最前線 MPA、GPA に対するリツキシマブ治療 RemIRIT 研究から 第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会 東京 2018/4/26-28
88. 平原 慎也, 勝又 康弘, 佐田 憲映, 川口 鎮司, 山中 寿, 針谷 正祥 SF-36 と EQ-5D による ANCA 関連血管炎患者の健康関連 QoL についての 2 大学横断調査 第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会 東京 2018/4/26-28
89. Comparison among dominant C1q positive cases including C1q nephropathy classified by immunofluorescence Shuichiro Endo, Erina Ono, Eri Muso, Motoko Yanagita. The 7th Japanese-Chinese Renal Pathology Conference January 13th, 2019
90. 横紋筋融解症に続発する急性腎障害の新たな展開: マクロファージ細胞外トラップ. 平橋 淳一 日本筋学会学術集会 シンポジウム・ 2018 年 8 月 1 日
91. ヒストンによる血小板凝集の形態的解析 鈴木英紀, 平橋 淳一, 平橋 淳一 日本血栓止血学会誌 2018 年 5 月 1 日
92. 次世代シーケンサーにより, 遺伝子診断が行われ, 確診にいたった地中海熱の一例. 林松彦, 平橋 淳一, 吉田理, 山崎修, 藤島清太郎, 新井康通, 小崎健次郎 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2018 年
93. 廣村桂樹: ループス腎炎の診断と治療.

第 62 回日本リウマチ学会総会・学術集会，
教育講演，東京，2019 年 4 月 27 日。

94. 廣村桂樹：難治性腎疾患と分子標的薬
(リツキサンなど)：わが国のループス腎炎
の診療実態と新規治療の展望。第 61 回日
本腎臓学会学術総会 サテライトシンポジ
ウム，さいたま，2018 年 7 月 29 日。

95. 井上 暖，小島 糾，岩間 佐智子，杉崎
健太郎，富安 朋宏，吉川 憲子，山田 宗
治，尾田 高志：ANCA 関連腎炎における糸
球体への補体沈着と臨床・組織所見との関
連性。第 61 回日本腎臓学会学術総会

96. 当科における難治性ネフローゼ症候群
に対するリツキサンの治療成績。白井小百
合、田邊淳、小波津香織、上原温子、松井
勝臣。第 61 回日本腎臓学会総会

97. よくわかるシリーズ 腎移植後の再発腎
炎。山田英行、小口英世、小林静佳、兵頭
洋二、斎藤彰信、田井怜敏、澁谷正樹、川
口祐輝、荒井太一、根本哲生、渋谷和俊、
大橋靖、穴戸清一郎、酒井謙。第 4 回腎移
植内科研究会，名古屋，2018.7。

98. 救命でき得なかった高齢発症の特発性
ネフローゼ症候群の 1 剖検例。日本腎臓学
会東部学術大会，新宿，2018.10

99. Ozeki T, Nagata M, Katsuno T, Inagaki
K, Kato S, Yasuda Y, Tsuboi N, Maruyama
S. Clinical implications on simple
attachment and endothelial damage in the
glomeruli of adult nephrotic focal
segmental glomerulosclerosis (FSGS): A
retrospective cohort study. ASN Kidney
Week 2018, San Diego, CA. October 2018.

100. 尾関貴哉，丸山彰一，今澤俊之，川口武
彦，北村博司，首村守俊，片淵律子，岡一雅，
佐藤博。「J-RBR を利用した、わが国の巢
状分節性糸球体硬化症 (FSGS) の臨床像に
ついての検討」。第 48 回日本腎臓学会西部
学術大会シンポジウム 徳島，2018 年 9 月

101. 岡田浩一：腎臓病対策検討会報告書と
日本腎臓病協会のミッション、第 62 回日本
腎臓学会学術集会・総会、名古屋、2019 年
6 月

102. 岡田浩一：「CKD 診療ガイドライン 2018」

の改訂ポイント、第 49 回日本腎臓学会西部
学術大会、高知、2019 年 10 月

103. 小野淳、友利浩司、井上勉、岡田浩一：
高齢者の血液透析導入後の声明予後を規定
する因子について、第 64 回日本透析医学会
学術集会・総会、横浜、2019 年 6 月

104. 岡田浩一：腎臓病対策検討会報告書と
日本腎臓病協会のミッション、第 62 回日本
腎臓学会学術集会・総会、名古屋、2019 年
6 月

105. 岡田浩一：「CKD 診療ガイドライン
2018」の改訂ポイント、第 49 回日本腎臓学
会西部学術大会、高知、2019 年 10 月

106. 小野淳、友利浩司、井上勉、岡田浩一：
高齢者の血液透析導入後の声明予後を規定
する因子について、第 64 回日本透析医学会
学術集会・総会、横浜、2019 年 6 月

107. 要伸也。腎疾患対策検討会と CKD 患者
の重症化予防。第 32 回日本医工学治
療学会；2019 年；東京

108. 要伸也。腎臓内科医からみた皮膚血管
炎。第 118 回日本皮膚科学会総会；2019 年。

109. 要伸也 ANCA 関連腎炎のマネジメント。
第 62 回日本腎臓学会学術総会；2019
年；名古屋市

110. 要伸也。腎臓病療養指導士に期待する
こと。第 62 回日本腎臓学会学術総
会；2019 年；名古屋市

111. 要伸也。チーム医療で取り組む腎臓病。
第 49 回日本腎臓学会西部学術大会；
2019 年；

112. 新坂真広、原田拓也、藤田亜紀子、永
井恵、金子修三、甲斐平康、森戸直記、
臼井丈一、斎藤知栄、山縣邦弘。心外
膜炎を合併した多発血管炎性肉芽腫症
に対してリツキシマブを含む集学的治
療が有効であった一例。医学生・研修医
の日本内科学会ことはじめ 2019；2018
年；名古屋

113. 高橋真由美、臼井丈一、金子修三、杉
山齊、新田孝作、和田隆志、武曾恵理、
有村義宏、榎野博史、松尾清一、山縣
邦弘。RPGN 全国アンケート調査二次研
究：年齢層別の生命・腎予後の検討。

- 第 62 回日本腎臓学会学術総会 ; 2019 年 ; 名古屋
114. 臼井丈一、山縣邦弘 . シンポジウム 8 血管炎に関する最新の話、急速進行性糸球体腎炎 RPGN 診療ガイドラインと今後の課題 . 第 62 回日本腎臓学会学術総会 ; 2019 年 ; 名古屋
115. 河村哲也、金子修三、臼井丈一、山縣邦弘、佐久間亜季、岩淵聡、佐田憲映、榎野博史、松尾清一 . ANCA 関連血管炎に合併する貧血は腎病変の重症度と関連する ~ Remit-JAV-RPGN コホートより . 第 64 回日本透析医学会学術集会・総会 ; 2019 年 ; 横浜
116. 影山美希子、岩瀬菜美子、荒川洋、植田敦志、斎藤知栄、臼井丈一、山縣邦弘 . SLE+Goodpasture 症候群合併の RPGN に対し、血漿交換療法+免疫抑制治療が奏効した一例 . 第 64 回日本透析医学会学術集会・総会 ; 2019 年 ; 横浜
117. 遠藤知美、横井秀基、森慶太、長尾早枝子、池田嘉宏、廣瀬潤子、金光祥臣、金子一成、阿部高明、塚本達雄、柳田素子 . 透析患者の母乳哺育の可能性 - 母乳内尿毒素と栄養素の解析 - . 第 54 回日本小児腎臓病学会学術集会 ; 2019 年 ; 大阪
118. 遠藤知美、垣田浩子、遠藤修一郎、堤野みち、針谷正祥、塚本達雄、武曾恵理 . ANCA 関連血管炎における腎組織病変とサイトカインプロファイルの相関研究 RemIT-JAV-RPGN 二次研究 . 第 62 回日本腎臓学会学術総会 ; 2019 年 ; 名古屋
119. 遠藤知美、横井秀基、森慶太、長尾早枝子、池田嘉宏、廣瀬潤子、金光祥臣、金子一成、阿部高明、塚本達雄、柳田素子 . 透析患者の母乳哺育の可能性 - 母乳内尿毒素と栄養素の解析 - . 第 62 回日本腎臓学会学術総会 ; 2019 年 ; 名古屋
120. Miyawaki Y, Sada K et al. The association between the dose of glucocorticoids and health-related quality of life in patients with systemic lupus erythematosus: a cross-sectional study. The 13th International Congress on Systemic Lupus Erythematosus (LUPUS 2019) ; 2019 ; San Francisco/USA
121. Keiji Ohashi, Ken-ei Sada, Yosuke Asano, Keigo Hayashi, Yuriko Yamamura, Sumie Hiramatsu Asano, Michiko Morishita, Haruki Watanabe, Mariko Narazaki, Yoshinori Matsumoto, Tomoko Kawabata, Jun Wada, Masayoshi Harigai, Hirofumi Makino, on behalf of Japan Research Committee of the Ministry of Health, Labour, and Welfare for Intractable Vasculitis Syndrome (JPVAS). Optimal initial dose of glucocorticoid for elderly-onset ANCA associated vasculitis: safety outcome analysis of two nationwide, prospective, inception cohort studies. 2019 EULAR 2019 ; ; Madrid, Spain.
122. Masayoshi Harigai, Aya Kawasaki, Naoyuki Tsuchiya, Ken-Ei Sada, Fumio Hirano, Takahiko Sugihara, Koichi Amano, Kunihiro Yamagata, Hiroaki Dobashi, Kenji Nagasaka, Tatsuya Atsumi, Seik-Soon Khor, Katsushi Tokunaga, Shoichi Ozaki, Seiichi Matsuo, Yoshihiro Arimura and Hirofumi Makino. Genome-wide Association Study in a Japanese Population Revealed Novel Candidate Genes for Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-associated Vasculitis. 2019 ACR/ARP Annual Meeting; 2019; Atlanta, GA.
123. Aya Kawasaki, Natsumi Namba, Ken-ei Sada, Fumio Hirano, Shigeto Kobayashi, Hidehiro Yamada, Hiroshi Furukawa, Kenji Nagasaka, Takahiko Sugihara, Aika Suzuki, Kunihiro Yamagata, Takayuki Sumida, Shigeto Tohma, Sakae Homma, Shoichi Ozaki, Hiroshi Hashimoto, Hirofumi Makino, Yoshihiro Arimura, Masayoshi Harigai and Naoyuki Tsuchiya. Association of TERT and DSP

- Polymorphisms with Susceptibility to Myeloperoxidase-ANCA-Associated Vasculitis. 2019 ACR/ARP Annual Meeting; 2019; Atlanta, GA.
124. Shinya Hirahara, Yasuhiro Katsumata, Ken-ei Sada, Hiroko Nagafuchi, Eiichi Tanaka and Masayoshi Harigai. Association of Work Productivity Assessed by Absenteeism and Presenteeism with Disease Activity, Damage and Health-related Quality of Life in Patients with ANCA-associated Vasculitis. 2019 ACR/ARP Annual Meeting; 2019; Atlanta, GA.
125. KAWASHIMA SOKO. Analysis of clinical features in ANCA-associated vasculitis treated with rituximab: a single center experience. The 19th International Vasculitis and ANCA Workshop 2019 PA ; 2019 ; Philadelphia
126. 川嶋聡子. 当院における ANCA 関連血管炎に対するリツキシマブ療法の現況. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会 ; 2019 年 ; 京都
127. 川嶋聡子. 当院における過去 35 年の RPGN を呈した ANCA 関連血管炎の臨床像の検討. 第 62 回日本腎臓学会学術総会 ; 2019 年 ; 名古屋
128. 大矢昌樹, 重松隆. 日本における血液透析患者の服薬の実態. 第 64 回 日本透析医学会学術集会・総会 ; 2019 年 ; 横浜
129. 根木茂雄, 大矢昌樹, 重松隆. 「AKI update」AKI(急性腎障害)に対する血液浄化療法. 第 49 回 日本腎臓学会西部学術大会 ; 2019 年 ; 高知
130. 山本脩人, 大矢昌樹, 田中佑典, 矢野拓郎, 小林聡, 龍田浩一, 美馬亨, 根木茂雄, 重松隆, 雑賀保至, 刀禰佳典. 血液透析患者における栄養状態とその予後に関する検討. 第 64 回 日本透析医学会学術大会・総会 ; 2019 年 ; 横浜
131. 龍田浩一, 山本脩人, 大矢昌樹, 重松隆. バスキュラーアクセス手術における内科医の限界はどこか?. 第 64 回 日本透析医学会学術大会・総会 ; 2019 年 ; 横浜
132. 藤田寿実子, 楠原洋子, 大矢昌樹, 重松隆. 透析患者における低カリウム血症の危険性: 栄養面からのアプローチ. 第 64 回 日本透析医学会学術大会・総会 ; 2019 年 ; 横浜
133. 美馬亨, 屋代充, 大矢昌樹, 重松隆. 透析患者末梢血リンパ球の Klotho 発現低下と感染症リスクについて. 第 64 回 日本透析医学会学術大会・総会 ; 2019 年 ; 横浜
134. 園生智広, 大矢昌樹, 重松隆. 高リン条件下での筋萎縮因子発現の検討. 第 64 回 日本透析医学会学術大会・総会 ; 2019 年 ; 横浜
135. 加藤 貴久, 尾田 高志, 井上 暖, 岩間 佐智子, 木原 優, 今野 理, 岩本 整. 第 53 回 日本臨床腎移植学会 ; 2020 年 ; 東京
136. 岩本 整, 沖原 正章, 赤司 勲, 木原 優, 山田 宗治, 尾田 高志, 今野 理. 第 53 回 日本臨床腎移植学会 ; 2020 年 ; 東京
137. 虎石 竜典, 大山 勝宏, 竹内 裕紀, 平川 圭史, 堀 祐輔, 沖原 正章, 赤司 勲, 横山 卓剛, 木原 優, 今野 理, 中村 有紀, 河地 茂行, 尾田 高志, 岩本 整. 日米の医薬品副作用データベースを用いたエペロリムスの蛋白尿発現時期の検討. 日本移植学会総会 ; 2019 年 ; 広島
138. 竹内 裕紀(東京薬科大学), 瀬沼 和己, 前原 陸哉, 沖原 正章, 横山 卓剛, 赤司 勲, 木原 優, 今野 理, 中村 有紀, 虎石 竜典, 平野 俊彦, 畝崎 榮, 河地 茂行, 尾田 高志, 岩本 整. PK/PD 解析に基づく腎移植初期から維持期における併用療法免疫抑制力の推移. 日本移植学会総会 ; 2019 年 ; 広島

139. 足立 大也, 小牧 和美, 塩津 弥生, 浦田 倫子, 原 将之, 中山 雅由花, 草場 哲郎, 益澤 尚子, 小西 英一, 尾田 高志, 玉垣 圭一. 感染の関与が示唆された ANCA 陰性顕微鏡的多発血管炎の1例. 第49回日本腎臓学会西部会; 2019年; 高知
140. 坂下 祥太, 池上 怜花, 小林 伸暉, 正田 若菜, 久山 環, 尾田 高志, 安藤 亮一. 溶連菌感染後急性糸球体腎炎との鑑別が問題となるも IgA 血管炎と診断した一例. 第49回日本腎臓学会東部会; 2019年; 東京
141. 小松 秀平, 酒井 敬史, 小島 亜希, 大島 泰斗, 小島 糾, 杉崎 健太郎, 富安 朋宏, 山田 宗治, 吉川 憲子, 尾田 高志. 鎖と鎖が共に陽性の PGNMID の1例. 第49回日本腎臓学会東部会; 2019年; 東京
142. 酒井 敬史, 山田 宗治, 小島 亜希, 小松 秀平, 大島 泰斗, 小島 糾, 杉崎 健太郎, 富安 朋宏, 吉川 憲子, 尾田 高志. 典型的な電顕所見を示す IV型コラーゲン 5鎖(COL4A5)染色陽性の男性アルポート症候群2症例. 第49回日本腎臓学会東部会; 2019年; 東京
143. 武政 洋一, 藤永 周一郎, 遠藤 翔太, 梅田 千里, 西野 智彦, 渡邊 佳孝, 仲川 真由, 尾田 高志. マイコプラズマ肺炎を合併した重症感染後糸球体腎炎の6歳男児. 第49回日本腎臓学会東部会; 2019年; 東京
144. 井上 暖, 廣瀬 剛, 杉崎 健太郎, 山田 宗治, 吉川 憲子, 尾田 高志. 溶連菌感染後急性糸球体腎炎(PSAGN)に直接クームス試験一過性陽性化を伴う血栓性微小血管症(TMA)を合併した一例. 第49回日本腎臓学会東部会; 2019年; 東京
145. 尾田 高志. 溶連菌感染後急性糸球体腎炎. 第49回日本腎臓学会東部会; 2019年; 東京
146. 尾田 高志, 井上 暖, 酒井 敬史, 小島 亜希, 木原 優, 今野 理, 山田 宗治, 吉川 憲子, 岩本 整. 腎移植患者におけるヒトパルボウイルス B19(HPVB19)遷延感染の2症例. 第64回日本透析医学会総会; 2019年; 横浜
147. 吉川 憲子, 小島 糾, 廣瀬 剛, 小松 秀平, 大島 泰斗, 小島 亜紀, 山田 宗治, 尾田 高志, 進藤 俊哉. 当院における下肢末梢動脈疾患(PAD)紹介患者の変動. 第64回日本透析医学会総会; 2019年; 横浜
148. 菅野 靖司, 角田 隆俊, 小俣 百代, 山川 弘, 佐藤 雄一, 齋藤 毅, 吉川 憲子, 尾田 高志. Dialysis-Net 802(八王子医療圏透析連携の会)ホームページ制作. 第64回日本透析医学会総会; 2019年; 横浜
149. 花房 規男, 菊地 勘, 川崎 路浩, 酒井 謙, 杉崎 弘章, 小川 哲也, 尾田 高志, 要 伸也, 田島 真人, 本田 浩一, 大坪 茂, 岡本 裕美, 安部 貴之, 今井 早良, 上田 聰美, 松田 由美子, 吉盛 友子, 安藤 亮一. 東京都の災害対策医療の現状 東京都透析医会災害対策委員会の取り組み. 第64回日本透析医学会総会; 2019年; 横浜
150. 尾田 高志, 岩間 さち子, 小島 糾, 杉崎 健太郎, 吉川 憲子, 山田 宗治, 吉澤 信行, 浅野 貴子, 熊谷 裕生. NAP1r 陽性腎炎の最終診断名および臨床・組織学的特徴. 第62回日本腎臓学会総会 2019年; 名古屋
151. 山田 宗治, 酒井 敬史, 小島 亜希, 井上 暖, 小松 秀平, 大島 泰斗, 廣瀬 剛, 小島 糾, 杉崎 健太郎, 富安

- 朋宏, 吉川 憲子, 尾田 高志. ラット線維芽細胞における epimorphin の線維化保護作用. 第 62 回 日本腎臓学会総会; 2019 年; 名古屋
152. 松村 千恵子, 菅谷 雅人, 升田 真依, 小林 雅代, 鶴野 裕一, 金本 勝義, 北村 博司, 澤井 俊宏, 奥田 雄介, 才田 謙, 野津 寛大, 尾田 高志. 溶連菌感染契機に発症し、ステロイド剤とタクロリムス併用が著効を呈した C3NeF 陽性 C3 腎炎の 1 例. 第 54 回 日本小児腎臓学会; 2019 年; 大阪
153. 加勢田 幸子, 平橋 淳一, 藤島 清太郎. 急激なダイエットにより誘発されたと考えられたキライディティ症候群の一例. 第20回 日本病院総合診療医学会 学術総会; 2020年; 福岡
154. 荒木 李香, 藤島 清太郎, 平橋 淳一, 新井 康通, 安藤 崇之, 加勢田 幸子 遷延性の白血球減少とLDH高値を認めた菊池病の1例 第20回 日本病院総合診療医学会 学術総会; 2020年; 福岡
155. 加勢田 幸子, 平橋 淳一, 藤島 清太郎. 繰り返す一過性視野欠損から眼動脈攣縮を疑い、ペニジピンが奏功した一例. 第20回 日本病院総合診療医学会 学術総会; 2020年; 福岡
156. 山崎 修, 山下 真帆, 李 金萍, 本間 文佳, 吉田 理, 平橋 淳一, 林 松彦, 柴田 茂. ナトリウム重炭酸共輸送体 NBCe1 の新規変異体 I551F は cytosolic retention および機能低下を示す. 日本高血圧学会; 2019年; 東京
157. 高杉 望, 平橋 淳一, 新井 康通, 藤島清太郎. 発熱、頭痛と顎跛行を認め、高度の炎症反応から感染症との鑑別を要した巨細胞性動脈炎の一例. 日本病院総合診療学会; 2019年; 沖縄
158. 平橋 淳一, 黒澤 美穂, 大久保. 光修糖尿病では急性期傷害関連タンパク Histone1 に対する白血球の炎症免疫応答が亢進している. 第62回日本腎臓学会学術総会; 2019年; 名古屋
159. 平橋 淳一, 宮内 宏彰, 有田 誠, 中久木 正則, 河野 浩之, 大久保 光修. エイコサペンタエン酸・アスピリン併用による慢性腎炎進行抑制メカニズムの探求. 第64回日本透析医学会学術総会; 2019年; 横浜
160. 平橋 淳一. 糖尿病における心血管病への脆弱性を白血球の急性期タンパクヒストンへの反応性から解析する. 第10回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会; 2019年; 高松
161. 平橋 淳一, 新井康通, 藤島清太郎. 変動性の下腹部痛を認め、造影CTによる特徴的所見から骨盤内うっ血症候群が疑われた1例. 第10回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会; 2019年; 高松
162. 平橋 淳一. 炎症急性期タンパク Histone1 に対する感受性と Thromboinflammation 口演. 第25回 MPO研究会; 2019年; 東京
163. 平橋 淳一. Macrophage Extracellular Traps (METs): A new molecular mechanism for rhabdomyolysis-induced acute kidney injury. 第36回国際心臓研究学会日本部会 CVMW 心血管代謝週間 シンポジウム; 2019年; 神戸
164. 北川清樹, 加治貴彰, 迫恵輔, 和田隆志. 急速進行性糸球体腎炎を併発した ANCA 関連腎炎の臨床病理所見および予後の変遷. 第 73 回国立病院総合医学会; 2019 年; 名古屋市
165. 北川清樹, 加治貴彰, 迫恵輔, 坂井宣彦, 和田隆志. ANCA 関連血管炎に対するアフエ レシス療法. 第 38 回日本アフエ レシス学会関西地方会; 2020 年; 和歌山市
166. Oishi Y, Hiromura K, et al. Pregnancy Outcomes in Patients with Systemic Lupus Erythematosus with or Without Lupus Nephritis. American Society of Nephrology, Annual Meeting; 2019;

- Washington DC, USA
167. Ikeuchi H, Hiromura K, et al. Risk Factors for Poor Long-Term Renal Outcome and Death in Lupus Nephritis: Analysis on a Nationwide Cohort Study in Japan, American Society of Nephrology, Annual Meeting; 2019; Washington DC, USA
168. Ikeuchi H, Hiromura K, et al. The Level of Proteinuria after 6 and 12 months of Treatment Predicts Long-Term Renal outcomes in Lupus Nephritis: Data from a Nationwide Cohort Study in Japan. American Society of Nephrology, Annual Meeting; 2019; Washington DC, USA
169. Kajiyama H, Hiromura K, et al. Association of the cumulative urinary podocyte number and urinary podocalyxin with long-term renal prognosis in lupus nephritis. American College of Rheumatology, Annual Meeting; 2019; Atlanta, USA
170. 武井克仁, 廣村桂樹, 他. 当教室において初回ならびに再生検を施行したループス腎炎 21 例の検討. 日本リウマチ学会総会・学術集会; 2019; 京都
171. 廣村桂樹, 池内秀和. ループス腎炎: 病態研究と臨床の最前線 ループス腎炎の寛解導入 わが国の全国調査も含めて. 日本腎臓学会学術集会; 2019; 名古屋.
172. 池内秀和, 廣村桂樹, 他. J-RBR ループス腎炎二次研究 死亡と合併症に関する解析 日本腎臓学会学術集会; 2019; 名古屋
173. 池内秀和, 廣村桂樹, 他. J-RBR ループス腎炎二次研究 腎生検時データによる腎予後不良のリスク因子の解析. 日本腎臓学会学術集会; 2019; 名古屋
174. 池内秀和, 廣村桂樹, 他. J-RBR ループス腎炎二次研究 治療後尿蛋白量による長期腎予後の予測. 日本腎臓学会学術集会; 2019; 名古屋.
175. 廣村桂樹. ループス腎炎: わが国の診療実態と今後の展望. 日本腎臓学会総会サテライトシンポジウム; 2019; 甲府.
176. 小川真一郎, 廣村桂樹, 他. 中枢性尿崩症の経過中に半月体形成性糸球体腎炎を発症した一例. 日本腎臓学会東部学術集会; 2019; 東京.
177. 廣村桂樹. ループス腎炎の病態と最新の治療. 日本腎臓学会西部学術集会; 2019; 高知.
178. 廣村桂樹. ループス腎炎診療アップデート. 日本腎臓学会西部学術集会; 2019; 高知.
179. Ohya M. Vascular Calcification in CKD-MBD patients. Asia-Pacific AKI to/on CKD summit, 2019 Annual Meeting of Taiwan Society of Nephrology; Taipei, Taiwan; 2019
180. 大矢昌樹. CKD-MBD の基礎と新たな概念. 第 64 回 日本透析医学会学術大会・総会; 2019 年; 横浜
181. 大矢昌樹. 「学生・研修医のための教育セミナー」. 第 49 回 日本腎臓学会西部学術大会; 2019 年; 高知
182. Ozeki T, Kato S, Yasuda Y, Maruyama S. The Incidence and Timing of Infectious Complications Relating to Immunosuppressive Treatment Among Adult Japanese Minimal Change Disease and Focal Segmental Glomerulosclerosis: A Retrospective Study. ASN Kidney Week 2019; 2019; Washington DC.
183. Ozeki T, Ishimoto T, Kato S, Yasuda Y, Maruyama S. The levels of plasma suPAR may not associate with poor-therapeutic reactivity among adult Japanese patients with focal segmental glomerulosclerosis and minimal change disease. ASN Kidney Week 2019; 2019; Washington DC.
184. Ozeki T, Kato S, Yasuda Y, Maruyama S. The incidence and timing of infectious complication relating to immunosuppressive treatment among adult Japanese minimal change disease/focal segmental glomerulosclerosis. 第 62 回日本腎臓学会総会; 2019; 名古屋.
185. Ozeki T, Ishimoto T, Kato S, Yasuda

- Y, Maruyama S. The levels of plasma suPAR may discriminate the patients with focal segmental glomerulosclerosis from those with minimal change disease but not the patients with poor therapeutic reactivity. 第 62 回日本腎臓学会総会; 2019; 名古屋.
186. Sayuri Shirai, Yasuda Takashi, Hiroo Kumagai, Hanako Matsunobu, Daisuke Ichikawa, Yugo Shibagaki, Yoshinari Yasuda, Tetsuya Kawamura, Yusuke Suzuki, Shoichi Maruyama. Examination of the factor related to the prognosis in IgA nephropathy patients with mild proteinuria at diagnosis. ASN, 2019, Washington
187. Takehiko Kawaguchi, Toshiyuki Imasawa, Moritoshi Kadomura, Hiroshi Kitamura, Shoichi Maruyama, Takaya Ozeki, Ritsuko Katafuchi, Kazumasa Oka, Yoshitaka Isaka, Hitoshi Yokoyama, Hitoshi Sugiyama, Hiroshi Sato. Association between Histologic Variants of Focal Segmental Glomerulonephrosis and Outcomes: Results from Japan Renal Biopsy Registry. ASN Kidney Week 2019; 2019; Washington DC, USA.
188. Takehiko Kawaguchi, Tasuku Nagasawa, Kazuhiko Tsuruya, Kenichiro Miura, Takayuki Katsuno, Takashi Morikawa, Eiji Ishikawa, Masao Ogura, Hideki Matsumura, Ryota Kurayama, Sinsuke Matsumoto, Yuji Marui, Shigeo Hara, Shoichi Maruyama, Ichiei Narita, Hirokazu Okada, Yoshifumi Ubara, Kidney Biopsy Guidebook Working Group. ERA-EDTA congress 2019; 2019; Budapest, Hungary.
189. Nakanishi K: IgA Nephropathy and Henoch-Schönlein Purpura Nephropathy. Treatment of IgAN and HSP nephritis. 18th Congress of the International Pediatric Nephrology Association; 2019; Venice, Italy
190. Shima Y, Nakanishi K, Hama T, Tanaka Y, Wada T, Mukaiyama H, Sato M, Nozu K, Kaito H, Tanaka R, Suzuki H, Iijima K, Yoshikawa N: Factors related to proteinuria relapse in childhood IgA nephropathy. 18th Congress of the International Pediatric Nephrology Association; 2019; Venice, Italy
88. Ichikawa D: Spontaneous Remission in Asian Patients with IgA Nephropathy Treated with Conservative Therapy. 52th Annual Meeting of American Society of Nephrology; 2019; Washington DC, USA
191. 島友子, 中西浩一, 濱武継, 向山弘展, 佐藤匡, 田中侑, 鈴木啓之, 吉川徳茂. 重症型小児 IgA 腎症に対するプレドニゾン+ミゾリピン+RA 阻害薬 3 剤による多剤併用療法の有効性の検討. 第 54 回日本小児腎臓病学会学術集会; 2019; 大阪
192. 藤元昭一: IgA 腎症の移行期医療 (内科医の立場から)「小児-成人移行期医療」(シンポジウム) 第 49 回日本腎臓学会西部学術大会; 2019; 高知
193. 佐藤陽隆, 市川大介, 渡邊詩香, 小波津香織, 柴垣有吾: 軽度から中等度蛋白尿を伴う IgA 腎症の自然寛解. 第 62 回日本腎臓学会; 2019; 名古屋
194. 片渕律子, 永江洋, 升谷耕介, 中野敏昭, 鶴屋和彦, 満生浩司: IgA 腎症における軽鎖沈着の偏りに関する臨床病理学的検討. 第 62 回日本腎臓学会学術総会; 2019 年; 名古屋
195. 関根章成、星野純一、藤丸拓也、諏訪部達也、森崇寧、蘇原映誠、内田信一、澤直樹、高市憲明、乳原善文. 家族歴の明らかでない PKD における遺伝子変異と腎予後. 第 62 回日本腎臓学会学術総会; 2019 年; 名古屋
196. 関根章成、星野純一、澤直樹、高市憲明、乳原善文. ARPKD & ネフロン癆 (シンポジウム). 第 49 回日本腎臓学会東部学術大会; 2019 年; 東京
197. 石川 英二. 診療ガイドラインに強くなる. 作成方法を理解して信頼できる診療ガイドラインを活用しよう. 第 62 回日本腎臓学会学術総会.; 2019 年; 名古屋.
198. 山本準也、西尾妙織、楠加奈子、武田

紗夜、中沢大悟、渥美達也．常染色体優性多発性嚢胞腎に対するトルバプタンの長期成績；第 62 回日本腎臓学会学術総会；2019 年；名古屋

199.中西 浩一．常染色体劣性多発性嚢胞腎（ARPKD）．第 62 回日本腎臓学会学術総会；2019 年；名古屋

200.西尾妙織．ADPKD：嚢胞形成と cilia．第 62 回日本腎臓学会学術総会；2019 年；名古屋

201.Yamamoto J, Nishio S, Kusunoki K, Takeda S, Nakazawa D, Atsumi T. Long-term treatment of tolvaptan for autosomal dominant polycystic kidney disease: a single center retrospective cohort study, The 56th ERA-EDTA Congress ; 2019 ; Budapest, Hungary

202.Takeda S, Nishio S, Kimura T, Yamamoto J, Nakazawa D, Sakurai H, Atsumi T. The effect of L-type amino acid transporter 1 in the cyst formation of model mice for polycystic kidney disease, The 56th ERA-EDTA Congress ; 2019 ; Budapest, Hungary

203.Nishio S. Autosomal Dominant Polycystic Kidney Disease: Translating Mechanisms into Therapy . APSN Continuing medical Education (CME) Course in JAPAN ; 2019 ; Nagoya, Japan

G．知的財産権の出願・登録状況

1．特許取得

なし

2．実用新案登録

なし

3．その他

なし